

TEIKYO UNIV.

帝京大学ラグビー部

RUGBY

TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2019

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2019 RUGBY



帝京大学ラグビー部



「CHALLENGER」

胸に手を当て、自分に問う。

僕たちは今を楽しめているだろうか。

このチャンスを楽しまない手はない。

瞬きを惜しみ、明日をも「挑越」する。

最高の笑顔で仲間と笑いあうために。

帝京大学ラグビー部 イヤーブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永 佳史

本学では、指定強化部の活躍が目立っておりますが、スポーツの強化というのは日々の積み重ねの結果です。強化に向けたあらゆる努力を地道に続けてきたからこそ、めざましい実績につながっているのです。

しかしながら、目立つことが目的になってはいけなさと考えております。大学スポーツはプロスポーツと異なり、あくまでも教育機関が行っている活動であります。各練習施設やトレーニング施設の拡充はもちろん、競技力向上のためのトレーニング方法や食の管理、けがの際の適切な治療などを施す、大学に付設するスポーツ医学センターや接骨院のバックアップ体制など、すべてが学生の育成を目的としています。

よって、指定強化部で活動している学生につきましては、これら本学における支援体制を存分に活用し、さまざまな経験を積んで社会の中で活躍できる人材へと成長していただけることを期待しております。

帝京大学 八王子キャンパス 学生サポートセンター・グループリーダー
強化クラブ室 室長
宮澤 靖治

近年、本学ラグビー部は岩出雅之監督の指導の下、『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』で9連覇という実績と共に、学生ラグビー界のみならず、日本のラグビー界を牽引する選手指導の在り方を提示してまいりました。

昨季は、前人未到の10連覇に向け、チーム一丸となって邁進しておりましたが、残念ながらベスト4で敗退する結果となり、連覇達成はなりませんでしたが、しかし、本学ラグビー部の指導法や強化策は、他チームやその指導者へ影響を広げ、本学を追随するチームがようやく乗り越えた大会であったとも受け止められました。

さて、今年は『ラグビーワールドカップ2019日本大会』が開催される年となり、国内でのラグビー競技の注目も高まる年となります。その中で岩出監督をはじめ、チームは必ずまた新たな取り組みで活路を見出し、混戦が想定されております大学ラグビー界で、再び日本一に返り咲いてくれることを期待しております。

本学ラグビー部はどのような新しいストーリーを描いてくれるのか。シーズンが楽しみです。



Interview

帝京大学ラグビー部 部長

浪越 一喜
Itsuki Namikoshi



今シーズンこそ
これまで以上のエールを

昨年度は皆様の応援、ご支援にお応えすることができず、学生、スタッフと同じく、私もとても悔しい気持ちでいっぱいです。ですが、チームはすでに目標に向かって新たな歩みを始めております。どうか、今年度も学生たちの挑戦、そして成長を温かく見守っていただければ幸いです。

帝京大学ラグビー部が一ひとりの「人間形成」に力を入れていることは、すでに多くの方がご存じのことと思います。例えば、落ちているゴミを拾うことなど、全員が当たり前に行ってくれます。これは誰かと勝ち負けを競うことではありませんので、自分自身で連覇を続けていくことができます。学生たちには、こうした人間形成の部分での連覇を続けてほしいと思っています。

私の役割は常々、学内のラグビー部の応援者を増やして、その人

たちにスタジアムへ足を運んでもらえるようにすることだと考えております。私の授業では、ラグビー部の学生もそうでない学生も、どちらも多く履修しており、教室では大きな体のラグビー部員とラグビー部ではない学生とが机を並べて学習し、休み時間には楽しそうに話をしています。同じ授業のクラスメイトであるラグビー部員の応援に多くの学生たちが来てくれ、スタンドの赤い面積は年々増え続けており、今シーズンはさらに増えてくれるだろうと確信しております。

今年は『ラグビーワールドカップ2019』が日本で開催され、部の卒業生たちも大勢出場します。どうか、私たちのチャレンジと共に、卒業生たちのチャレンジにも大いなるご声援をいただけますよう、お願い申し上げます。

2019年度 関東大学対抗戦Aグループ 星取表

	帝京大学	早稲田大学	慶應義塾大学	明治大学	筑波大学	青山学院大学	日本体育大学	成蹊大学
帝京大学	—	11/10 14:00 秩父宮	11/30 11:30 秩父宮	11/24 14:00 秩父宮	11/4 14:00 駒沢	9/14 15:00 大和スポーツセンター競技場	9/8 15:00 帝京大G	9/1 12:45 菅平サニアパークM
早稲田大学	11/10 14:00 秩父宮	—	11/23 14:00 秩父宮	12/1 14:00 秩父宮	9/15 16:00 ケーズデンキ	9/8 16:00 早稲田大G	8/31 10:45 菅平サニアパークM	11/4 11:30 駒沢
慶應義塾大学	11/30 11:30 秩父宮	11/23 14:00 秩父宮	—	11/10 11:30 秩父宮	9/8 11:00 たつのこフィールド	9/1 11:15 菅平サニアパークC	11/4 14:00 上柚木陸上	9/14 15:00 秋葉台
明治大学	11/24 14:00 秩父宮	12/1 14:00 秩父宮	11/10 11:30 秩父宮	—	8/31 13:15 菅平サニアパークC	11/4 11:30 上柚木陸上	9/15 15:00 足利陸上	9/8 15:00 明治大G
筑波大学	11/4 14:00 駒沢	9/15 16:00 ケーズデンキ	9/8 11:00 たつのこフィールド	8/31 13:15 菅平サニアパークC	—	11/30 14:00 江戸川陸上	11/24 14:00 前橋敷島	11/10 14:00 熊谷B
青山学院大学	9/14 15:00 大和スポーツセンター競技場	9/8 16:00 早稲田大G	9/1 11:15 菅平サニアパークC	11/4 11:30 上柚木陸上	11/30 14:00 江戸川陸上	—	11/10 11:30 熊谷B	11/24 11:30 前橋敷島
日本体育大学	9/8 15:00 帝京大G	8/31 10:45 菅平サニアパークM	11/4 14:00 上柚木陸上	9/15 15:00 足利陸上	11/24 14:00 前橋敷島	11/10 11:30 熊谷B	—	11/30 11:30 江戸川陸上
成蹊大学	9/1 12:45 菅平サニアパークM	11/4 11:30 駒沢	9/14 15:00 秋葉台	9/8 15:00 明治大G	11/10 14:00 熊谷B	11/24 11:30 前橋敷島	11/30 11:30 江戸川陸上	—

帝京大学ラグビー部 関東大学対抗戦Aグループ 日程

開催日	KICK OFF	対戦校	会場
9/1(日)	12:45	成蹊大学	菅平サニアパークメイングラウンド
9/8(日)	15:00	日本体育大学	帝京大学百草グラウンド
9/14(土)	15:00	青山学院大学	大和スポーツセンター競技場
11/4(月)	14:00	筑波大学	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
11/10(日)	14:00	早稲田大学	秩父宮ラグビー場
11/24(日)	14:00	明治大学	秩父宮ラグビー場
11/30(土)	11:30	慶應義塾大学	秩父宮ラグビー場

関東大学ジュニア選手権大会 カテゴリー1 日程

開催日	KICK OFF	対戦校	会場
9/22(日)	13:00	明治大学	帝京大学百草グラウンド
9/29(日)	13:00	早稲田大学	帝京大学百草グラウンド
10/6(日)	13:00	東海大学	帝京大学百草グラウンド
10/20(日)	13:00	慶應義塾大学	帝京大学百草グラウンド

※日程・会場は予定となっており、変更になる可能性があります。



看脚下で文化を再構築していく

昨年度の結果を真摯に受け止め、前を向いて新たな歩みを始めた新チーム。今年度はどのような姿を見せてくれるのだろうか。今シーズンのチーム、そして帝京大学ラグビー部の文化について岩出雅之監督が語る。キーワードは「看脚下」だ。



【帝京大学ラグビー部・監督】

岩出 雅之

Masayuki Iwade

1958年生まれ。和歌山県新宮市出身。日本体育大学在学中に1978年全国大学選手権大会優勝に貢献。四年次には主将を務める。卒業後、滋賀県の教育委員会や高等学校教員を務める。県立八幡工業高等学校教員時にラグビー部監督として、同校を7年連続花園出場に導く。1996年に帝京大学ラグビー部の監督に就任。2009年-2017年『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』において9連覇を達成。

昨年度の経験をどう活かすか

皆様もご存じのとおり、『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』10連覇に挑んだ昨年度は準決勝で天理大学に敗れ、チームとしてめざしたひとつの大きな目標を達成することができませんでした。この点に関しては、多くの方々の期待、応援、サポートにお応えすることができず、私たちスタッフ一同、申し訳ない気持ちでいっぱいです。すでに出てしまった結果を変えることはできません。結果は結果として真摯に受け入れ、この経験をどう活かしていくかがチームにとって最も大切なこと

だと認識しています。これは学生たちも十分に理解しており、彼らはすでに新たな歩みを始めています。

これまでの私たちは「勝つこと」によって得られるものを積み重ねて、成長してきました。例えば、勝つことでしか得られない自信、あるいは勝つことで得られるエネルギー、やり切る力、そうしたものを得ることから生まれる自分やチーム、学校に対する誇り、そして何より気持ちも行動も前向きに進んでいくことができる「ポジティブさ」を積み重ねて、ここまで来ました。「ポジティブさ」には「前向き」「積極的」「プラス思考」といっ

た意味に加えて「能動的」、すなわち受け身にならずに自分自身で行動していく「Active」の意味も含まれます。

加えて、皆様に応援していただける喜び、期待に応えることによって得られる喜びも積み重ねてまいりました。これらもまた、自信やエネルギー、やり切る力となって学生たちの成長の糧となっていました。ですが、昨年度の経験を経たことで、敗戦でも大きなものが得られることを再認識できました。例えば、敗戦の悔しさは勝つことで得られるものとは違ったエネルギーを湧かせてくれました。これまで「当たり前」だと思っ

いたことを、もう一度、再確認するきっかけを与えてくれました。先輩たちが努力の積み重ねによって得たものを、汗をかかずに手に入れることができるという錯覚から目覚めさせてくれました。それによって、チーム内の緊張感が高まり、一人ひとりが主体的に汗をかける集団になりつつあります。

もちろん、負けることのマイナス面もあります。ものごとをネガティブに捉えがちになったり、消極的になったり、不安になったり、受け身になったりする可能性は十分にあります。ですが、マイナス面は勝ち続けることにもありました。本当に重

要なことでもマンネリ化したり、当たり前になりすぎて大事なことを意識しなくなったり、自分が頑張らなくても誰かがやってくれるだろうという受け身の姿勢が生まれたり、さまざまな面で油断が出たりといったものがそれです。こう言いますと「それは負け惜しみではないか」と思われるかもしれません。しかし、決して負け惜しみで言っているわけではありません。その証拠に、私自身、ここ数年にないほど、内なるエネルギーが湧き出ているのを感じています。

これまで、勝つことによってチームの文化を創成し続けてきましたが、負けることから

創成される文化があり、そうした気づきを得て、私たちは今、新たなチャレンジを始めているところです。

変えるべきこと 変える必要がないこと

そうした「創成される文化」は勝つても負けても大きくぶれることはありません。これまでの土台の上に、新たなものが積み上げられていくのみです。例えば「ダブルゴール」であるとか、「すべてのことを楽しむ」「脱・体育会系」など、先輩たちのおかげで定着してきた私たちの文化の柱の部分は、これまでと変わらず、揺らぐことはありません。

大学時代にめざす目標と、大学卒業後の人生においてめざす目標という、二つのゴールを設定してめざす考え方が「ダブルゴール」です。もちろん、まったく異なる目標ではなく、学生時代の目標の延長線上に人生の目標があるというイメージです。短期目標と長期目標のような関係と言えるでしょう。この「ダブルゴール」は、学生たちにもだいたい定着してきていると感じます。目標を聞かれると、ほとんどの学生が「ラグビーでは……」生活面では（あるいは、卒業後は……）のように答えてくれます。最近では「ダブルゴール」という考え方が多くの人に知られるようになってきたものをベースとして、その上にさらにプラスし、なおかつ組み直していきます。

「リストラ」という言葉は、今では「人員整理」「従業員解雇」の意味ばかり使われていますが、もともとは「Restructuring（リストラクチャリング）」の略語で、「再構築」という意味です。元のリソースを残したまま、微調整しながら組織を再構築していくのが「リストラクチャリング」です。「ストラクチャー（Structure）」という言葉は、ラグビーでもよく使われます。チームの攻めや守りがきちんと組織化された状態、あるいはその組織のことを言います。陣形がきちんと整っているということです。それに対して、攻めや守りの組織化が崩れた状態を「アンストラクチャー（Unstructure）」正確には「Unstructured」と言います。昨年度は、私たちの組織、あるいは学生一人ひとりの状態も（心の状態も含めて）、知らず知らずのうちに「アンストラクチャー」な状態になっていたのかもしれない。目標設定にしても、そこへ向かうためのエネルギーにしても、実際に向かっていく過程にしても、その状態のまま進んでいったのかもしれない。昨年度の経験は、そんな状態に気づかせてくれたように思います。

り、入学時からすでにこうした発想を持って入ってきてくれる学生も増えました。とても頼もしく感じます。

「すべてのことを楽しむ」ことに関して、これまではキャプテンを中心としたリーダー陣が牽引することで行っていた部分があります。今年度は、一人ひとりが自分で考え、自分で自分をわくわくさせる力を身につけてほしいと思っています。

人と人の関わり合い

「脱・体育会系」については、この言葉が先回りしてしまっている気がします。大学が成長している学生たちの成長のための仕組みのひとつです。

人は人と接することで、お互いの関わり合いの中で成長していくものです。大学の部活動においては、多くの場合、先輩が後輩を育てていくイメージが強いと思います。もちろん、経験値もスキルも高く、年齢的にも大人である上級生が、いろいろなことを吸収していきたいと思っている下級生を育て、成長させていく場面が多くなるのは確かです。しかし、それだけでは下級生は成長しても、上級生が成長する場がないことになります。

「看脚下」で 成長への気づきを得る

禅の言葉に「看脚下」というものがあります。文字通り、「足もとを見る」、すなわち「自身自身を見つめ直す」という意味です。私たちは連覇を続けているうちに、いつの間にか、自身自身の足もとを見ず、当たり前のごとの確認を忘れていたのかもしれない。

先ほども述べましたが、敗戦によって自分たちがアンストラクチャーな状態になっていることにも気づかせてもらいました。それに気づけたことで、もう一度、ストラクチャーを構築し直す、すなわち「リストラクチャリング」の必要性に気づかせていただきました。昨年度の経験は、私たちに「看脚下」の機会を与えてくれたと言えるでしょう。

ですが、ここから本場に「リストラクチャリング」できるかどうかは、やはり学生一人ひとりの意志と行動にかかっています。春・夏と各自がそれぞれの目標を設定し、そこへ向かって積み重ねをしてきました。ここで、もう一度、看脚下し、自分自身のストラクチャーの再構築に取り組んでほしいと願っています。

皆様には、どうか彼らの「再構築」を見守っていただければ幸いです。

実際はそんなことはありません。人と人の関わり合いは、関わった者全員が成長します。下級生も上級生も、お互いに成長していくのです。例えば、上級生は下級生との関わり合いの中で「責任」を持つ力を養っていくことができます。この力は、上級生が下級生に養ってもらっていると言えるでしょう。責任とは、自覚や覚悟を伴うものです。上級生は下級生を成長させるアプローチをしながら、同時に下級生に自覚、覚悟を育ててもらっているのです。

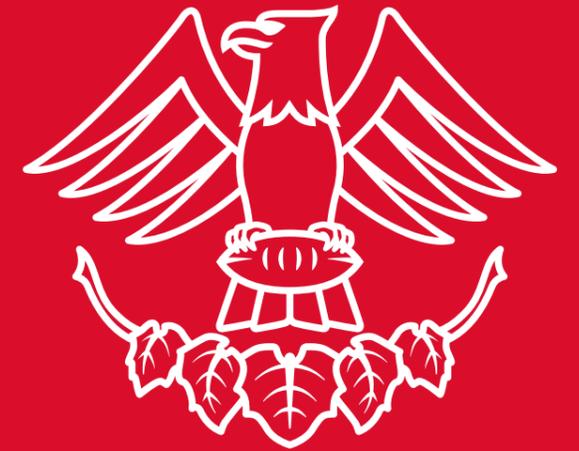
チームカルチャーの再構築

「ダブルゴール」のところ、目標設定の大切さについて述べましたが、目標設定には意義・目的を持っためざすべき場所の設定に加え、具体的なアクションが必要で、自動的、自動的に設定しただけで、目的地を設定しただけでは、目的地を動かさなければ、決して目的

地には辿り着けないのと同じです。車にガソリンが必要なのと同様、目標に向かうためのアクションを起こすにはエネルギーが必要です。成長のための栄養源と言ってもいいかもしれません。学生たちはお互いの関わりの中で、行動を起こすためのエネルギーをお互いに与え合うことができます。そのエネルギーは成長のための栄養源を最大限に与え合うことこそが、私たちの文化（カルチャー）なのだと思っています。



Enjoy & Teamwork



**TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2019**



「挑越」の先に見えるもの

“追われる”立場から、“追う”立場となったチーム。二人のリーダーは、今後どのようにチームを導いていくのか。そして、その先に見据えるものとは。

[四年・FL/副将]
佐藤 羅雲
Ramo Sato

[四年・CTB/主将]
本郷 泰司
Taiji Hongo



逆境だからこそ力を発揮できるチームに

本郷 今年度、僕がキャプテンを務めることになりましたが、実は以前からずっと自分がこのチームを引っ張っていきたくて思っていました。でも、キャプテンはチーム全員で何度も話し合い、各々がチームを任せたいと思う人を推薦して決めていくので、自分の思いだけではキャプテンにはなれません。プレー面だけでなく、人となりやチームへの思いを含め、みんなに「この人がキャプテンにふさわしい」と認めてもらわなければなりません。そこで、キャプテンを決める学年ミーティングで、一人ひとりが誰にキャプテンを任せたいか発表し、たどき、ありがたいことに全員が僕を推してくれました。そのときに「なぜ僕にキャプテンを任せたいか」というみんなの思いを聞き、自分がキャプテンとしてチームをより良くしていかなければとより一層強く思いました。もちろん不安も少しはありましたが、それ以上に「この1年、チャレンジャーとして100%やり続けよう」という意志が固まりました。佐藤 僕もこれまで学年リーダーを任されてきて、自分がチームを引っ張っていかなければという気持ちはずっとありました。ただ、これまでではけがも多く、Aチーム

の試合に出ることもできず、正直チームに結果を残せていないという部分がある。僕の中では少し不安要素でした。でも逆に、僕だからこそできることもあると考え、がむしゃらになって本気でレギュラーをめざすバイスキャプテン、その姿を周りに見せることができる。僕も周りの推薦で後押しされ、「やってやるぞ!」という気持ちで強くなりました。本郷 『関東大学春季大会』を終え、チームの特徴も分かってきました。今年度のチームは、勢いに乗ったときはとても強い。ただ、何かうまくいかないことが起こったとき、流れが良くないとき、それをね返していく力がまだまだ足りていないと感じています。逆境をはね返け、チャンスに変えていく力をこれからつけていかなければ、また悔しい思いを何度も繰り返してしまうのではなにかと感じています。佐藤 それは僕も同じ意見です。うまくいかなかったり、どうにかして状況を良い方向へと変えなければいけないときに「俺が変える」という気持ち全員まだ弱いと思います。そういうときこそ自分が流れを変えてやるというマインドを、もっと一人ひとりが強く持たなければいけないと感じています。本郷 その課題を克服するために、最近では練習中からタックル

ひとつでも、何か良いプレーがあれば「ナイス!」と大きな声をかけていくように心掛けています。小さな喜びでも全員で少しずつ共有していけば、チームの雰囲気もきっと良くなるし、そこから良い流れに変えていけると思っています。チーム全員が「ナイス!」「ナイス!」と常に言っているような空気を作り、それを習慣づけていければ、チームとして逆境に打ち勝つための団結力も育めるし、逆境のときにもあきらめずに最後まで底力を発揮できるチームになれると感じています。佐藤 そういった環境をつくりあげていくためには、まずは自分が声を出して、盛り上げていく姿を見せることが大切だと思うので、僕も積極的に声を出すようにしています。これを継続していけば「声を出すことは大事だ」と思ってくれる人が増えるはず。根づかせるには大変なことだと思われ、みんなが声を出してくるようになるまで粘り強く続けていきたいと思います。いつか全員が自発的にできるようなときに、団結力のあるパワフルなチームになっていると思います。すべての行動が最高の笑顔につながる

本郷 キャプテンとしての僕自身の課題は、言葉の伝え方や説得力を向上させること。どういった言葉にすれば、相手により深く伝わるのかが難しい。でも、伝えたいことが正確に伝わらないとチームの向くべき方向がずれてしまいうので、その部分をより良くしていかなければならないと感じています。佐藤 僕はラグビーの理解力や体の強さなども含めたプレー面を、練習や試合の間は100%の状態を発揮し続けることが一番の課題です。プレー面以外では、僕は話すことがあまり得意ではないので、自分の考えを相手にも分かりやすくアウトプットできるように。これはリーダーとして欠かせないことなので、もっとレベルを上げていかなければならぬと感じています。本郷 自分の考えや思いを伝えるためにどうしても厳しく接してしまふこともあるけれど、下級生にはのびのびラグビーを楽しんでほしいと思っています。『キャプテン』というより、「四年生の本郷さん」という感覚で接してほしいので、自分から声を掛けたら、できるだけコミュニケーションを取るようにしています。ただ、もし間違った行動やだらしなさと感じる部分があったときには厳しく接しています。メリハリが大切だと思うし、そうすることでオンとオフの切り替えを促して

あげられればと。佐藤 僕も状況や人にあつた接し方を心掛けたいです。何でも厳しく接するとやる気をなくしてしまったり、プレーの幅を狭くしてしまう。優しいだけでもいけない。ただ、「一緒にやろう」と言われた人と、「やるぞ」と強く背中を押されたい人がいるように、相手のタイプによっても接し方が変わると思うので、それぞれにあつた対応を的確に見極められるように心掛けていきたいです。本郷 手探りしながらも新たな取り組みにも挑戦している僕たちのテーマは、挑戦し続けて越えていくという意味を持つ「挑越」。毎日挑戦し続けて、帝京大学ラグビー部という文化と共に成長していきたい。その結果として、大学日本一の座を取り戻したい。最後は全員が笑顔になれるように頑張ります。佐藤 すべての行動の先に大学日本一という結果がついてくるという意識を持ち、目標をぶれさせないようにしたいです。1年間きっちりやり続けていれば、自信を持ってグラウンドに立てるはず。リーダーとしてチームを引っ張り、みんなを日本一の舞台へ、そして最高の笑顔に導きたいと思っています。

誰よりも走り、体を張る
復帰に備えて心身を錬成



[三年・FL]
松本 健留
Kento Matsumoto

春シーズンはけがの影響でプレーすることができませんでした。リハビリをしながら、チームを客観的に見る機会が増えたことで、さまざまなことに気がつきました。
FWは昨年度からメンバーが大きく入れ替わったこともあり、今シーズン序盤は積極的にリーダーシップをとる人が少なく、一人ひとりが自分のやるべきことをとにかく必死になって取り組んでいる印象がありました。時間が経つにつれて、FWとしてのまとまりが出てきたように感じています。
フィールドの外から練習を見ていると、復帰したときにやりたいことへの思いが日毎に強くなっています。練習や試合を見ていると、言いたいことも出てくるのですが、僕が今何か言っても言葉に重みがなく、現時点ではそこまでの信頼感はないと思いますし、おそらくみんなには響かないので我慢しています。ただ、三、四年生には、僕が気づいた範囲で改善点を伝えるようにしています。チーム全体への働きかけは彼らに任せ、僕は復帰後、常にエネルギッシュにプレーすることをイメージしながら、今は練習を見守っています。
けがで全体練習ができないこと、CTBからFLにポジションをチェンジしたこともあって、

今春は身体づくりに力を入れました。その甲斐もあり、体重を昨年の夏から10kg増やすことができました。
また、復帰したとき、みんなが楽しくなるようなチームづくりに取り組んでいけるように、リーダーシップの発揮の仕方や、オーナーシップを引き出すためのアプローチの方法などをずっと考え続けています。やはり、すべてのことを楽しむというのが、帝京大学ラグビー部の文化だと思っので、何事にも全力を出して向きあっていたいのです。
三年生の中でも徐々にですが、リーダーシップを積極的にとり、チームを良くしようという気持ちが生えている人、「俺がやらない」と思う人が増えてきています。四年生に任せきりでは、いつまで経っても成長できないという危機感が、練習で自主的に声を出すなどの行動にも現れてきているように感じます。
今シーズンの目標は、絶対に『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』で優勝することです。昨シーズンのような悔しい思いはもうしたくない。個人的にはFLとして7番のファーストジャージを着て、優勝の瞬間に笑顔でグラウンドに立っていたいです。誰よりも走って、誰よりも体を張って、チームの勝利に貢献していきたいです。

3rd Grade Players Interview

ターニングポイント ～中心選手たちの決意～

リーダーシップを発揮すると共に、オーナーシップを持ってチームを牽引する。上級生になったことを機に、決意を新たにする三年生たち。チームの中核を担う選手たちが抱く思いを聞いた。

[三年・SO]
北村 将大
Masahiro Kitamura



最高の笑顔で終わるため
課題の克服に全力で取り組む

数試合ですがゲームキャプテンを務めたことで、さまざまなことを学びました。リーダーとして、プレーと言葉の両方でチームを引っ張っていくことは、試合のときだけやるうとしても難しい。普段から自分のことだけではなく、チーム全体を俯瞰して見ることの重要性を痛感しました。そして、チームの雰囲気や細かい部分まで見ていく必要性を感じました。
僕は練習で大事なことは、調子の波をつくらないことだと思っています。気分が左右されることなく、疲れているとき、きついなときこそ自分自身を奮い立たせなければなりません。それができないのは、受け身で取り組んでいるからです。僕はリーダーとして一人ひとりがオーナーシップを持つことができるよう声を掛けたり、オーナーシップを持つ姿勢を見せていきたいです。
昨シーズンは、積み重ねてきたことを最後に出し切れず、本当に悔しかったです。今シーズンは、僕たちの課題であるタックルスキルとフィジカルの克服に努め、最後まで全力を出し切りたいです。昨年度に味わった悔しさを、さらなる成長の原動力にして、日々の練習に精力的に取り組んでいます。
三年生は、下級生から上級生

に変わるターニングポイントとなる学年です。日々の生活でも、プレーでも、下級生のモデルにならなければなりません。僕たちの姿勢は下級生に影響を及ぼすので、まずはしっかりとした姿を見せた上で、気配りをしていきたいです。僕が考える気配りとは、何でもかんでも丁寧に教えてあげることではありません。下級生が自ら答えを出せるよう、導いてあげることです。このことを常に意識しながら、下級生と接しています。
今年の三年生は、一人ひとりがチームをより良くしていく意識を持ち、積極的に行動することを目指しています。受け身になり、誰かが何かをしてくれるのを待っているだけでは、全体が同じ方向に向かうのは難しいです。まずは僕たちが100%全力でやりきる姿勢を見せることで、周囲に良い影響を与えていく。この連鎖で、学年全体の「脱・受け身化」を図っていきたくです。
そして、大学日本一という大きな目標を達成して、このチームが最後に笑顔で終われるよう、日々の練習を大切にしていきたいです。上級生として、リーダーとして、自分のことだけではなく、チーム全体をより良くしていく存在になりたいと思います。



TOPIC 1

『ラグビーワールドカップ2019日本大会』 日本代表メンバーにOBが多数選出

今年開催される『ラグビーワールドカップ2019日本大会』の日本代表メンバーに、帝京大学ラグビー部OBが8名選出。ジャパンラグビートップリーグの各チームにおいても、主将として帝京大学ラグビー部OBが続々と選ばれている。岩出雅之監督の“リーダーを育てる”教育が、OBを通じて着実に日本ラグビーに根づいてきている。

[HO]

坂手 淳史(15年度卒・主将)
堀江 翔太(07年度卒・主将)
堀越 康介(17年度卒・主将)

[FL]

ツイ ヘンドリック(10年度卒)
姫野 和樹(16年度卒)

[SH]

流 大(14年度卒・主将)

[SO/CTB]

松田 力也(16年度卒・副将)

[CTB]

中村 亮士(13年度卒・主将)



※メンバーは、2019年7月31日時点

TOPIC 2

海外ラグビーチームと合同練習を実施

帝京大学ラグビー部では、2018年3月と2019年4月に海外の高校・大学ラグビーチームと合同練習を実施した。ラグビーを通じた国際交流は、グローバルな視点で物事を捉え、考え方や視野を広げる機会となった。

■2018年3月21日

イエール大学ラグビー部



■2019年4月9日～13日

ハミルトンボーイズ高校 帝京大学合宿



頼られる存在であるために
厳しい場面でチームを牽引

[三年・FL / No.8]

金 隆生

Kim Ryung Seng



春シーズン、入部してからはじめてAチームとして試合に出場しました。シーズン開始当初は、公式戦の経験不足によるミスが多かったと思います。しかし、試合を重ねるにつれて少しずつ慣れてきて、動きも徐々に良くなってきたと感じています。

帝京大学ラグビー部というレベルの高い環境でプレーすることで、自分自身の成長を日々実感しています。昨シーズンとの大きな違いは、コンタクトで相手に勝てる場面が多くなってきたこと。そして、FWとして、どんと前に出ることを、体をぶつけていくことを常に意識してプレーできるようになりました。

帝京大学ラグビー部は、BKに経験豊富な選手が多いことが特徴です。FWはつい彼らに頼ってしまうこともあるのですが、FWが良いプレーをすることで、チームに良い流れをもたらしていけるようになりたいです。

三年生は上級生という扱いになり、チームの中核として、今まで以上にリーダーシップを発揮していかなければならない学年です。昨年度まではどうしても自分のことで精一杯で、上級生に頼っていた部分が大きかったのですが、三年生になったことで上級生としての自覚が出てきました。特に春シーズン開始当初、キャプテン・バイスカプテンが

けがのため不在、四年生も少なく、FWでは僕がリーダーシップを発揮しなくては思いながら、プレーしていました。

三年生は、一人ひとりの個性がとても強い学年ではありますが、衝突することはなく、仲が良いです。チームの雰囲気は、とても良いです。リーダーシップという点では、まだまだ自分では気づいていない、足りない部分もたくさんありますが、これからも選手同士で指摘しあいながら成長していきたいと考えています。

今後の目標は、みんなから頼られる存在になること。そして、本当に厳しい場面で、周囲を引っ張っていく力を持つこと。そのためには、普段から自分自身の行動を律して、自分の言葉に重みを持たせる必要があると思います。言葉の説得力は行動に伴ってくるものだと考えているので、まずは、僕が全力で取り組む姿を仲間に見せること。その上で、必要なことを自ら考えた言葉で語っていくこと。姿勢と発言の両方を意識し、リーダーシップを発揮していきたいです。

『大学選手権』優勝という大きな目標を達成するためにも、日々の取り組みを疎かにしてはいけません。千里の道も一歩から。人として、一歩一歩、さらに大きく成長していきたいです。

2018年度 関東大学ジュニア選手権大会 結果

リーグ戦	9月15日	○36-5	流通経済大学	
	9月29日	●14-19	明治大学	
	10月14日	○21-17	東海大学	
	10月28日	○61-14	慶應義塾大学	
決勝トーナメント	準決勝	11月11日	●29-43	東海大学

RUGBY

PLAY BACK

2018



2018年度 関東大学対抗戦 Aグループ 結果

	帝京大学	早稲田大学	慶應義塾大学	明治大学	筑波大学	青山学院大学	日本体育大学	成蹊大学	勝敗	順位
帝京大学	-	○45-28	○24-19	●15-23	○66-10	○141-7	○90-7	○113-7	6勝1敗	1
早稲田大学	●28-45	-	○21-14	○31-27	○55-10	○123-0	○68-10	○99-5	6勝1敗	1
慶應義塾大学	●19-24	●14-21	-	○28-24	○35-24	○98-17	○84-17	○68-14	5勝2敗	3
明治大学	○23-15	●27-31	●24-28	-	○66-21	○88-0	○31-17	○110-0	5勝2敗	3
筑波大学	●10-66	●10-55	●24-35	●21-66	-	○73-31	○55-24	○101-0	3勝4敗	5
青山学院大学	●7-141	●0-123	●17-98	●0-88	●31-73	-	○26-23	○21-12	2勝5敗	6
日本体育大学	●7-90	●10-68	●17-84	●17-31	●24-55	●23-26	-	○59-12	1勝6敗	7
成蹊大学	●7-113	●5-99	●14-68	●0-110	●0-101	●12-21	●12-59	-	7敗	8

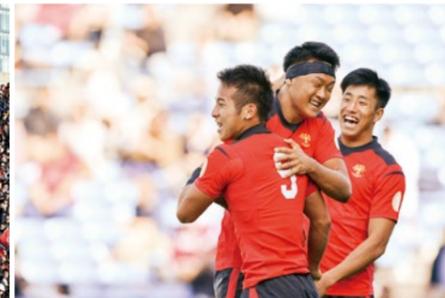
第55回 全国大学ラグビーフットボール選手権大会 結果

【準々決勝】

12月22日 秩父宮ラグビー場				
帝京大学		対	流通経済大学	
前	後	合計	前	後
2	5	T	0	0
1	4	G	0	0
0	0	PT	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
12	33	計	0	0

【準決勝】

1月2日 秩父宮ラグビー場				
帝京大学		対	天理大学	
前	後	合計	前	後
0	1	T	1	2
0	1	G	0	2
0	0	PT	1	0
0	0	PG	0	1
0	0	DG	0	0
0	7	計	12	17



“感情表現”でチームを変える

チーム力をさらに強化するため、帝京大学に今、必要なことは何か。日本ラグビー界の名門・サントリーサンゴリアス(以下サントリー)との合同練習を経て、両者の違いを痛感し、その解に辿り着いた二年生が語り合った。

[二年・SO/FB]
押川 敦治
Atsushi Oshikawa

[二年・PR/HO]
泓 城蓮
Joren Fuchi

[二年・FL]
上山 黎哉
Reiya Ueyama



— 昨シーズンから現在までの変化を教えてください。

押川 一年次と比べると、自分のことを自分でできるようになってきましたが、まだ周囲に良い影響を与えられるところには達していません。まずは自分がしっかりやること、周りを見ることを心掛けています。

泓 僕もまだ自分のことで精一杯。まずは学年として団結すること。そして、一年生へのアプローチやチームへの貢献を意識していきたいです。プレーの面では、何試合かAチームで出場したことで、高いレベルの空気を体験できました。

上山 二年生全体としては、一年生の頃よりも必死さが出てきた選手が多くなりました。ですが、それも自分のことで必死なだけ。もっと周りにアプローチすると共に、「言葉」で一年生を引っ張っていききたいです。

— 二年生として意識していることを教えてください。

押川 上級生から言われたことを、ただ受け身でやっているだけではない。一年生に自分たちの良い姿を見せていかないと。この一年を何となく過ごしてしまうと、上級生になったときにリーダーシップを発揮できず、信頼も得られないと思います。私人としてさらに成長している

ピードが速くなったと感じています。

上山 一年生の頃より、一つひとつのことを深く、丁寧に考えられるようになった。これは先輩ができたことで、視野が広がったのだと思います。自分のことから学年全体へ、さらにチーム全体へと考えの幅を広げられるようになりました。

— チームに必要なものを教えてください。

押川 練習中の雰囲気は試合にも出てしまうので、常に良いスタートをきる。練習中から気持ちが入っていないと、試合でも先制されて、相手のペースになってしまう。

上山 このチームには情熱を内に秘めるタイプが多けれど、それでは周りに伝わらない。周りに思いを伝え変えていくということも、四年生に頼ってしまっているのが現状です。

泓 6月に行われたサントリーとの合同練習で、サントリーの雰囲気がすごく良かったことが印象的でした。僕たちも見習って、グラウンドでもっと感情を出していきたい。例えば、良いプレーには即座に「ナイス」と声を出せば、チームの雰囲気は格段に良くなるはず。遠慮せず、思ったことを言い合ってきたいです。

くためにも、新しいことに挑戦する気持ちが必要です。上級生になったとき、下級生が僕たちの姿を見て、「良い先輩だな」と思ってもらえるかと言えば、まだまだ足りていません。責任感と自覚を持ってやっていきたいです。

上山 二年生は下級生に分類されますが、下には後輩がいるので、難しい学年だろうと思っています。上級生のようにリーダーシップをとれる1年間にできれば、三年生になったときに信頼を得られると思うし、練習の雰囲気をつくっていきける存在になれると思います。

— 成長していると感じる部分を教えてください。

押川 気持ちをつくれる点は成長しているように思います。練習でも試合でも、厳しい場面にあいまいな気持ちで臨んでしまうと、逃げたり、中途半端になってしまう。結果はついてくる場合とそうでない場合がありますが、まずは目の前に全力で、強い気持ちで臨めるようになってきたと感じています。

泓 僕は考え続けることが習慣化されたと思います。ラグビーはプレー中も常に考え続ける必要があります。僕は物事の理解に時間がかかる方でしたが、考えることを繰り返し、理解の速

上山 普段から感情を露わにしていけば、試合でももっとガツガツ行けるんじゃないかな。

泓 あと、サントリーはオンとオフの切り替えが早かったです。にぎやかな雰囲気だったのに、すぐに切り替えることができていました。

上山 サントリーのような雰囲気、僕たちが中心となっていくっていいです。

— シーズンの目標を教えてください。

押川 北村(将大)さんからスタメンを奪うくらいの気持ちでやらないと成長できない。北村さんの統率力やゲームへの理解力などの差を埋めていき、10番を争えるレベルにまで達するのが目標です。

泓 まずは自分を見つめ直し、自分がどうなりたいたのかをはっきりさせたい。チームに貢献することがゴールではなく、卒業後の姿を思い浮かべながら今後の大学生活を送っていきたいです。

上山 『関東大学対抗戦』でファーストジャージを着て試合に出ること。そして大学日本一を奪還すること。そのために僕がみんなを練習から引っ張っていきま

与えられる環境に満足せず 成長できるチャンスをつくる



帝京大学ラグビー部は、以前からずっと憧れの存在でした。実際に入部してみると、その先に何かあるかを常に考えながら行動していることに驚きました。僕は今まで、与えられた課題をこなすのみでした。そのやり方では、たとえ課題をこなせたとしても、結局本当の意味では自分のものにできていないことに気づかされました。自分の理解度を深めた上で行動すると、物の質が格段にアップします。これからも考えることを習慣づけ、取り組んでいきたいです。

また、試合や練習で僕が良いプレーをしたとき、先輩たちが次々に拍手をしてくれたり、「ナイス」と声を掛けてくださったことも驚きました。同時にとてもうれしかったです。「次も良いプレーをするぞ！」という自信にもつながったので、僕も見習って実践していきたいです。

T

練習の度に“考える”ことで 成長を日々、実感できる

帝京大学ラグビー部に入部して最初に驚いたことは、先輩方のラグビーというスポーツへの理解度、知識の高さです。そのため、練習の度に先輩方から学ぶこと、考えさせられることが多く、その分成長している実感が持てます。帝京大学ラグビー部では、社会に出たときに活きる人間力を身につけることができると聞いていましたが、本当にその通りだと思いました。先輩方は、僕たち一年生が分からないことがあっても、優しく丁寧に教えてくれます。以前、FLの先輩が僕のプレー中のタックルを見て、試合後にアドバイスをしてくれ、「一緒にタックルの練習しようか」と声を掛けてくれたことがあります。とても嬉しかったです。また、ラグビーはもちろん、私生活でもい

ろいろなことを教えてくれるので、本当にありがたいです。先日、ファーストジャージを着て試合に出場した際、高校とは違う一段階上のコンタクトの強さを体感し、僕の課題がタックルであることを痛感しました。僕はコンタクトで対等に渡り合える身体にまだなっていないと思うので、まずはウェイトトレーニングに取り組んで身体を大きくした上で、タックルのスキルを向上させていきたいです。

T



るようなことを教えてくれるので、本当にありがたいです。

T

1st Grade Players Interview

僕たちが今すべきこと

上級生たちの凄さと優しさから、日々「脱・体育会系」を感じているという一年生たち。入部から数カ月、彼らは何を感じ、何をめざすのか。

ひたむきな努力で 目標を確かなものにしていく

レベルの高い人たちが全国から集まる中で、自分はどこまでできるか、何ができるか。そう考えたとき、この環境こそが自分を大きく成長させてくれるものだと感じました。

『関東大学春季大会』は、けがでラグビーの練習には参加できませんが、充実した施設・設備でウェイトトレーニングに取り組み、体も大きくなってきました。ラグビーができないと焦らず、じっくりとけがをしっかりと休むことをしたいです。帝京大学ラグビー部の環境が素晴らしいということは入学前から知っていましたが、今、改めてその凄さを実感しています。スタッフ陣のサポートも手厚く、とても感謝しています。

T

[一年・CTB]
松山 千大 Chihiro Matsuyama



『関東大学春季大会』は、けがでラグビーの練習には参加できませんが、充実した施設・設備でウェイトトレーニングに取り組み、体も大きくなってきました。ラグビーができないと焦らず、じっくりとけがをしっかりと休むことをしたいです。帝京大学ラグビー部の環境が素晴らしいということは入学前から知っていましたが、今、改めてその凄さを実感しています。

僕は高校時代にキャプテンを任せられ、チームには何が大切なのかを考え、学びました。その経験を大学で活かしたいと思っています。一年生は入部したばかりなので、先輩たちに助けられている状態ですが、それを当たり前と思ってしまうのはいけない。先輩がつくってくれた余裕を最大限に活かさないようには、成長できないと思います。

T

[一年・CTB]
李 承信 Lee Sung Shin



先輩がつくる“余裕”を 成長のために使いたい

高校時代に2度、帝京大学ラグビー部の体験練習に参加して、グラウンドや寮などの施設を見学しました。また、在学中の兄(李承熾・三年)から話を聞いていたこともあり、入学前から大学生活をイメージすることができ、とても成長できる場所だと思いました。

入寮は高校日本代表に参加していた関係で、他の一年生よりも1カ月程遅くなりました。十分な準備ができていない状態で練習に合流することになったのですが、先輩方がいるとサポートしてくれたおかげで、すぐにチームに溶け込むことができました。

T



2019 SPRING RESULT

関東大学ラグビー春季大会

- 4/28 VS. 流通経済大学 50-19** [帝京大学百草グラウンド]
- 5/12 VS. 大東文化大学 60-7** [帝京大学百草グラウンド]
- 5/19 VS. 慶應義塾大学 42-20** [帝京大学百草グラウンド]
- 5/26 VS. 東海大学 26-31** [山梨中銀スタジアム]
- 6/16 VS. 早稲田大学 61-24** [帝京大学百草グラウンド]



2019年7月14日(日)

Feel Teikyo × タグラグビー2019

部員主催のタグラグビー教室とファン感謝イベント「Feel Teikyo」を今年も開催！
当日は約250名の子どもたち・ファンの方々に参加していただきました。
ラグビー体験コーナーやグッズの抽選会など、
皆様との交流はとても貴重な時間になりました。



継承していく僕たちの帝京流

選手でありながら、監督やコーチよりもさらに密接な立場からチームと向き合う学生コーチ。決意を胸に学生コーチに立候補した彼らが語る、帝京大学ラグビー部とは。



長谷川 耀[四年・PR] × 室屋 翔生[四年・PR] × 牧内 豪[四年・WTB/FB]
新井 翼[四年・CTB] × 亀井 康平[四年・WTB/CTB/FL] × 末 拓実[四年・SH]

— 学生コーチになった理由を教えてください。

亀井 学生コーチは立候補制ですが、キャプテン同様、チーム全員からの承認が必要です。僕が立候補したきっかけは、昨年度に専任で学生コーチをやっていた(前田)賢吾さん。誰よりもチームのことを理解しようとして、チームを勝利に導くことに一番貢献してくれていたのではないかと思います。その姿や思いを間近で見ていると、とてもカッコ良いと感じ、賢吾さんのようにチームに貢献し、良い影響を与えていきたいと思っています。

室屋 学生コーチは、チームを代表する顔。歴代の学生コーチたちは、プレー面ではもちろん、生活面においてもお手本となる先輩たちばかりでした。チームに貢献するだけでなく、帝京大学ラグビー部の文化を継いでいきたいと思って立候補しました。

長谷川 僕が2年次、当時のキャプテン・堀越(康介)さんが同室でした。堀越さんと接しながら、いつか自分も「リーダー」になりたいと思うようになりました。そして、僕の考える理想のリーダーとは、学生のリーダーである学生コーチだったんです。選手としてプレーしながら、コーチとしての視野の広さを身につけられ、監督・コーチからの意見を学生目線に落とし

込み、みんなに伝えるといった仕事に、僕のめざしていたリーダー像を感じました。

牧内 歴代の学生コーチに憧れたのはもちろんですが、昨年度『全国大学ラグビーフットボール選手権大会』(以下『大学選手権』)ベスト4で敗退し、再スタートするにあたってこれからはキャプテンと同じくらいチームのことを考え、関わっていかなくてはならないと感じ、立候補しました。キャプテンを支えながら、チームの先頭に立って優勝に導いていけるのが学生コーチなのではないかと思っています。

末 これまでの3年間、僕はリーダーという立場から逃げていました。最終学年になってようやく学生コーチとして、リーダーとしてチームに向きあおうと思えました。

新井 歴代の学生コーチへの憧れがきっかけです。先輩たちは、チームに何かしら良い影響を与えてくださる方ばかりでした。昨年度までは与えられる立場でしたが、最終学年になり、自分も何かチームに残したいと思ったのがきっかけです。

— 学生コーチの立場で感じていることを教えてください。

牧内 今年のチームは、良くも悪くもテンションの波が激しい。それを良い状態でキープし

続けられるようになるのが、現状の課題です。

亀井 その波は練習や試合にも影響が出ており、どちらも良いスタートがなかなかできていないと感じています。徐々に上がってはいくけれど、試合では相手に先制されてしまいがち。それが癖になってしまうと、大切な場面で取り返しのつかないことになってしまうので、練習からスタートにこだわられるように僕たちがリードしていく必要があると思っています。

室屋 ただ、今年のチームは先輩・後輩関係なく仲が良い。フラットな関係を築けているので、下級生から練習メニューへの意見をもらうことも多いです。その関係性を活かして僕たちだけで抱え込まず、仲間の力を借りながら現状に気づけていない仲間にも気づかせる機会を与えていきたいと思っています。

新井 その仲の良さを活かし、もちろん先輩・後輩関係なく指導しあうこともありです。ただ僕は学生コーチとして一人ひとりにあった指導をするために、相手のことを日頃から観察するように心掛けています。それが成長への近道だと思っています。

長谷川 たしかに学生コーチは、練習面でも生活面でも周りを注意深く見ていると思います。それこそキャプテンの目が行き届

かないところをカバーできるよう、同じ学生という立場で寄り添いながら指導しています。

末 学生コーチだからと気を張らずに、オンとオフの切り替えに気をつけるようにしています。グラウンドではコーチとして厳しく、でもふざけるときは全力でふざける。いかに信頼してもらえるかが重要だと思っています。

— 今年の目標を教えてください。

牧内 『大学選手権』優勝です。学生コーチとしては、1年をやりきるだけでなく、先輩たちのようにチームに何かを継承していくことが目標であり、役目ももっと強く、魅力的なチームにできるように貢献したいと思っています。

亀井 まず選手として、日本一奪還のためにAチームに貢献したい。まずは自分が練習に全力で取り組み、その姿でチームを鼓舞できるようにしたい。言葉だけでなく、行動でも示せる1年にしたいと思っています。

長谷川 大学日本一奪還には、まずは部員全員が「絶対優勝するぞ」という強い気持ちを持たなくてはなりません。チーム内で気持ちの部分で差が生まれてしまいかも知れませんが、その差は学生コーチが全員を引っ張って無くしていきたいと思

ます。

末 学生コーチになってから監督と話す機会が増え、たくさん気づかせてもらったことがありました。その気づきをチームにも還元していきたいです。簡単なことではないけれど、一人ひとりと向きあって良いアプローチをしていきたいです。

室屋 最後は全員で笑って終わりたい。そのためには、絶対に大学日本一を取り戻さなくてはなりません。つまり、常に仲間を見逃さないよう、常に周りを見て、全員で一緒に乗り越えていきたいと思っています。

新井 僕もただ仕事をこなすだけでなく、チームに良い影響を与え、それを残していきたいです。自分たちが憧れた先輩たちのように、僕たちの姿を見た後輩たちに学生コーチという選択肢を与えられたら嬉しいですね。





100%の さらにその先へ

Coach Interview

フィジカルコーチ
加藤 慶 Kei Kato

トレーニングでのモットーは「100%全力を出し切ること」。しかし、ここ数年は「その100%は本当に100%なのか」の確認をしていなかったと振り返る。今シーズンは、「当然」を再確認し、全力の一步先に進む力と勇気を育てる。

体づくりのトレーニングで、私
が学生たちに常々言っているの
は「常に100%で取り組む」とい
うことです。ただ、私の反省点と
してはその100%の枠自体が、
少しずつ小さくなっていったの
ではないか」という点。私自身も学
生たちも100%で取り組んで
はいたと思いますが、自分たちで
も気づかないうちに、その枠自体
を小さく見積もってしまったとい
たのではないかと感じています。
なので、今年はその枠を大きく
していくというのが、チームの
ひとつとしてあります。キーワー
ドは「ワンモアプッシュ」。全力
を出し切ったと思ったところか
ら、さらにもう一步、先に進んで
みようという意味です。以前から
言っていたことではありますが、
もう一度、ここに立ち返ってみよ
うと思っています。

自分の想定している枠を越え
るには、怖さもあるでしょう。で
すが、一步越えてみると、全然
怖くないと気づくはず。チー
ムメイトの声掛けなども、枠を越
える手助けになることでしょう。
トレーニング種目自体は、ど
のチームも大きく異なるわけ
はないので、「What（何をやる
か）」以上に「How（どうやる
るか）」の部分を意識して取り組
んでもらいたいと思っています。
全力のさらに一步先というのも
そうですし、トレーニングの意味
を考えるとそうです。例えば、

T



Student Staff Crosstalk

チームへの思いが 強固な絆に

主務、分析、マネージャー…選手を
サポートする“縁の下の力持ち”だが、
縁の下にばかりはられない。彼ら
の存在が、より強固なチームをつく
りあげる。

金子 新 [四年・主務]
中島 杏侑莉 [四年・マネージャー]
川畑 一航 [四年・分析]

——仕事内容を教えてください。
川畑 僕の仕事は、練習や試合
を動画で撮影・編集して監督・
コーチ・選手へ共有すること。
そして対戦相手の分析をするこ
とです。
中島 マネージャーの仕事は多
岐にわたります。例えば、グラ
ウンドでウオーターボトルを選
手に渡したり、補食や弁当発注
、備品管理などがあります。公式
戦では場内アナウンスを担当し
たり、公式記録をつけたりも。
また、SNSでの情報発信を通
して、チームを応援してくださ
る方々とチームをつなぐ架け橋
となる仕事もしています。
金子 主務とは、グラウンド外
のすべてのチームマネジメント
を行う役割です。具体的には、
対戦校や協会、学校とのやり取
りなどの対外的なことから、部
内の送別会や新入生の入寮式の
企画・運営など、競技以外での
サポートも行っています。

——印象に残っているエピソードを教えてください。
中島 最上級生とは自分で責任
を持ち、すべての仕事を一人で
こなさなければならぬと思っ
ていました。しかし、岩出監督
から「先輩に仕事を任せ、伝え
ていくのも責任のひとつ」と指
摘していただいたおかげで目か
ら鱗が落ち、それから後輩た
ちにも仕事を任せるようになり、
各々に責任感も持たせながら、
自分は全体を常に把握できてい
るように心掛けています。
金子 失敗談ですが、昨年の夏
合宿の際、僕の確認ミスで合宿
に必要な荷物を運ぶトラックの
発注が業者に伝わっておらず、
手配できていないという問題が
起きました。僕一人ではどうす
ることもできなかったのですが、
スタッフの協力があり、なんと
かトラックを押さえることがで
きました。僕は「完了」と「未
完了」を誤解していました。仕
事には必ず「完了」があります。
それぞれの「完了」は何をもって、
誰が完了と判断するのか、僕は
理解していませんでした。仕事
を中途半端ではなく、「完了」ま
でやりきることの重要性を痛感
しました。

川畑 以前に四年生で話し合い
をしていた際、ある選手から「自
分は分析だから」という言い訳
を無意識にし、やるべきことか
ら逃げていたのではないかと指
摘されたことがあります。全
員が気持ち良くラグビーに向き
合える環境をつくらなければな
らないのに、仲間にもそう感じさ
せてしまったのは僕の落ち度。
それからチームに必要なこと
はどんなことでも積極的にやる
ようになり、チームのことを考
えて自発的に行動できるよう
になりました。そういつたことを
言いあえるのも、このチームの
良さだと思っています。
——最後の1年の過ごし方を教
えてください。
金子 大学日本一に向かって、
できることはすべてやりたいで
す。強いチームになるために、
自分には一体何ができるかを考
え、行動する。選手や主務、分析、
マネージャーなんていう立場は
関係ないんです。一人ひとりが
チームのためにやるべきことに、
自ら気づいていくことが大切だ
と思います。
川畑 良い意味で「本当にこれ
で良いのか」と自分の行動一つ
ひとつに自問自答し続けていき
たいです。（本郷）泰司がチーム
のためにあんなに頑張っている
んだから、僕らも頑張らな
い。泰司をはじめ、チーム全員が最
高の笑顔で今シーズンを終わ
れるようにサポートしていきたい
です。
中島 みんなが頑張っている姿
を見て、力ももらってきたので、
今度は私がみんなに力を与えら
れる存在になればと思います。
まずは、私がいつも笑顔を絶や
さないようにすること。そして
受け身ではなく、自分ができる
ことを探し、それを全力でやり
切る1年にしたいです。

T

ラグビー部 活用法

身体づくりとリカバリーを、1カ所で行うことができます。
選手たちは授業の合間や練習、試合後にセンターを活用しています。

トレーニングエリア



最新の設備を活用し、フィジカルコーチによる指導が行われています。

食堂



管理栄養士が考案した栄養バランスのとれた食事を、トレーニングや練習後、すぐに摂取できます。

ウォーターリカバリー室



炭酸泉と冷水を使った交代浴ができ、練習や試合後のリカバリーに活用しています。

治療室



トレーニングエリアには治療室もあり、さまざまな機械を使った治療が可能です。

スポーツ現場と近いドクター



診察

センターにあるクリニックでの診察以外に、グラウンドにもドクターが足を運んでいます。けがをした直後の診察や、けがをする前の状態をチェックし、予防対策を行っています。



高気圧酸素治療室

けがが起きてしまったときに行う、自己治癒力を促進させる治療です。少しでも早い競技復帰の実現に役立っています。



帝京大学医学部附属病院

循環器内科や脳神経外科、各種専門ドクターによる診察や治療、手術対応など、大学病院と連携して対応することで、より安全・安心な競技環境づくりを実現しています。

Sports Science & Medicine

帝京大学スポーツ医科学センター

スポーツ医科学をさらに究め、 学生たちを安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは、「メディカル」「フィジカル」「サイエンス」「テクノロジー」の各分野の専門スタッフがチームを結成し、分野を超えた連携をしながら各クラブをサポートしています。「うちかつ強さを」をスローガンに掲げ、学生アスリートの希望を叶えられるように多角的なサポートをしています。

Total Support System

各クラブを4方面から支える
トータルサポートシステム

Technology Support

テクノロジーサポート

テクノロジー部門では、情報処理技術を活用し、サポートに必要な情報を管理するソフトウェアサービスの開発を行うことで、選手への効率的なサポートを実現しています。また、練習や試合の映像をいつでも、どこでも確認できる情報収録 & 映像データベースシステムも構築しています。

Science Support

サイエンスサポート

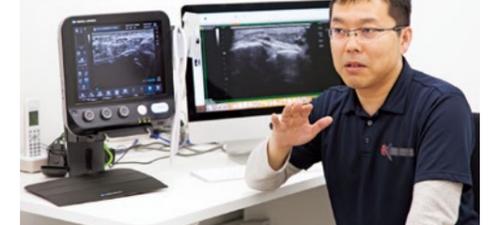
サイエンス部門では、選手に関するさまざまなデータを測定・分析し、それらを検証して科学的根拠に基づき新しい測定法・評価法の開発を行っています。



国内屈指のスポーツ医療でアスリートを守る

帝京大学スポーツ医科学センターは、国内有数の充実した医療設備を備え、スポーツ傷害の予防と治療に取り組んでいます。スポーツ医療を推進する「メディカルチーム」の強みのひとつは、エコー（超音波）による診察です。スポーツ医科学センターの1階にあるスポーツ医科学クリニックでは、選手は診察室に入ってから、わずか数分で適切な診断を受けられます。たとえば、練習で足関節をけがした場合、エコーを用いればどのじん帯がどの程度損傷しているのかまでその場で診断できます。そのため、その選手に適切な治療やリハビリを、トレーナーと連携して速やかに提供できるのです。また、けがを早期発見して悪化を防ぐことや、けが予防のためにトレーニングを見直すことも可能です。さらには、学内外の医療機関と連携しているため、状況に応じて肘や膝など各分野の権威とされる医師を紹介することもできます。ありとあらゆる手段で選手を守ることが私たちの役目です。

帝京大学
スポーツ医科学クリニック
菅原 潤 院長



撮影=川本聖哉 取材・文=外山武史

Medical Support

メディカルサポート

メディカル部門では、超音波やMRI、高気圧酸素治療室などを備えたスポーツ医科学クリニックを八王子キャンパス内に開設し、スポーツ傷害に対する診療を行っています。また、クリニックでの診療にとどまらず、練習・試合・合宿にも帯同し、アスリートとの日常的なかかわりを通じてスポーツ傷害の早期発見・予防を行っています。



Physical Support

フィジカルサポート

栄養

栄養グループは管理栄養士により構成され、各測定や調査に基づく個々の栄養状態から競技特性を考慮したうえで、コンディション維持・向上を目的とした栄養サポート（栄養指導・食教育、食事提供等）を行っています。

トレーナー

トレーナーグループにはアスレティックトレーナーとフィジカルコーチが所属し、選手に対する傷害の予防とコンディショニング、スポーツ傷害からの早期復帰支援などの専門業務に加え、選手の自立を促す活動に取り組んでいます。



RUGBY
PLAY BACK
2019



2019年度 帝京大学ラグビー部全部員リスト(ポジション別)

	学年	氏名	出身校	身長	体重
PR	4	北 隼人	筑紫	178	105
	4	慎 昌徳	東京朝鮮	185	110
	4	長谷川 耀	佐世保工業	175	101
	4	室屋 翔生	延岡星雲	178	105
	3	近藤 芽吹	新潟工業	177	108
	3	清水 岳	大阪桐蔭	174	105
	3	田中 大介	延岡星雲	173	113
	3	塚原 勇斗	清真学園	177	102
	3	東浦 仁一朗	上宮太子	183	123
	3	安岡 大樹	東京	173	108
3	渡邊 元太	大分白杵	181	126	
2	伊藤 健人	中部大学春日丘	181	100	
2	奥野 翔太	常翔学園	177	107	
2	後藤 孝輔	専修大学松戸	174	105	
2	小林 恵太	宮崎西	174	108	
2	ストイコビッチ ミーシャ	筑紫	181	106	
2	曹 光成	大阪朝鮮	175	110	
2	泓 城蓮	関商工	180	112	
2	細木 康太郎	桐蔭学園	177	110	
2	山本 深太	國學院大学久我山	177	105	
1	上路 慶人	光泉	170	89	
1	金森 栄人	秋田工業	175	120	
1	康 勇樹	東京朝鮮	187	110	
1	小松 桃斗	高鍋	177	123	
1	高井 翔太	常翔学園	171	105	
1	崔 暢賢	大阪朝鮮	179	110	
HO	4	齋藤 泰雅	國學院大学久我山	174	104
	4	文 相太	東京朝鮮	182	98
	3	荒川 海斗	帝京八王子	174	102
	3	上片 風馬	長崎北陽台	177	105
	3	加地 王虎	伏見工業	178	100
	3	李 承燾	大阪朝鮮	179	105
	2	大澤 陸大	黒沢尻北	169	94
	2	照内 寿明	國學院大学栃木	168	95
	1	中谷 基希	高岡第一	174	97
	1	福井 翔	東福岡	171	90
LO	4	石井 祐次郎	金光学園	182	103
	4	栗丸 大輝	佐賀工業	183	103
	4	本山 尊	大分東明	191	108
	3	オト ジョシュア 輝恵	八王子学園八王子	191	113
	3	久保 克斗	國學院大学栃木	191	108
	3	野田 響	荒尾	187	113
	2	藤原 清孝	関西	177	92
	1	アレクサンダー マクロビー	St.Kentigern College	195	95
	1	江里口 真弘	大分東明	184	113
	1	菅井 一樹	八千代松陰	187	106
FL	4	佐藤 羅雲	つるぎ	185	102
	4	ジョセフ ロガヴァトゥ	Hamilton Boys High School	194	105
	4	野沢 涼介	仙台育英学園	180	102
	4	藤丸 翔太	Rotorua Boys High School	172	92
	4	水谷 健人	秋田工業	184	96
	3	金 隆生	大阪朝鮮	180	102
	3	香澤 北斗	帝京八王子	169	80
	3	高橋 怜雅	黒沢尻北	177	95
	3	古田 勇作	深谷	180	107
	3	堀尾 英喜	帝京八王子	172	86
No.8	3	松本 健留	大阪桐蔭	176	96
	3	安田 司	常翔学園	180	105
	2	上山 黎哉	大阪桐蔭	172	93
	2	大塚 碧生	光泉	181	98
	2	森田 雅之	桐蔭学園	180	83
	1	岡本 流星	八幡工業	176	83
	1	鎌田 イリヤ	御所実業	175	83
	1	山川 一瑛	常翔学園	188	86
	1	山添 圭祐	長崎北陽台	177	97
	1	ミティエリ ツイナカウヴァドラ	St.Josephs College,Hunters Hill	185	108
3	築山 駿也	長崎南山	181	102	
2	中野 光基	専修大学松戸	180	105	
2	村田 空海	京都成章	177	87	
2	リッチモンド トンガタマ	Otahuhu College	188	129	
1	屋部 謙仁	名護	175	96	

PR…プロップ、HO…フッカー、LO…ロック、FL…フランカー、No.8…ナンバーエイト、SH…スクラムハーフ、SO…スタンドオフ、CTB…センター、WTB…ウイング、FB…フルバック、MG…マネージャー

	学年	氏名	出身校	身長	体重
SH	4	諫山 光	大分雄城台	161	75
	4	末 拓実	長崎北陽台	164	70
	4	徳井 彰真	荒尾	177	80
	3	重 海人	鹿児島実業	166	65
	3	土永 雷	光泉	167	67
	3	春野 日向	東京	167	73
	3	山地 健太	國學院大学栃木	170	70
	2	石井 修真	桐蔭学園	168	76
	2	白國 亮大	摂津	165	69
	2	藤原 大成	専修大学松戸	163	70
SO	1	岡本 泰希	中部大学春日丘	173	73
	1	片岡 祐二	京都成章	159	71
	1	紫垣 幸之介	信志	166	73
	1	田中 怜	長崎北陽台	173	66
	1	前田 翔哉	常翔学園	163	60
	4	長野 成實	尾道	181	91
	4	平坂 怜磨	日向	167	73
	3	相澤 賢志郎	流通経済大学付属柏	171	73
	3	奥村 翔	伏見工業	179	83
	3	北村 将大	御所実業	171	83
CTB	3	申 誠敏	東京朝鮮	170	76
	3	龍野 光太郎	佐賀工業	170	81
	2	押川 敦治	京都成章	172	80
	2	金 裕平	東京朝鮮	173	76
	2	金 諒	大阪朝鮮	185	92
	2	志和池 豊馬	日向	176	81
	2	西川 虎哲	京都成章	168	78
	1	金 憲輝	東京朝鮮	173	82
	1	高本 幹也	大阪桐蔭	171	80
	1	湯浅 宏太	桐蔭学園	170	74
WTB	4	新井 翼	流通経済大学付属柏	175	85
	4	金 基英	東京朝鮮	177	82
	4	本郷 泰司	京都成章	180	93
	4	吉本 淳之助	東筑	171	80
	3	岡村 晃司	御所実業	171	85
	3	尾崎 泰雅	伏見工業	182	86
	3	ニコラス マクカラン	Hamilton Boys High School	188	90
	3	原 銀太郎	報徳学園	172	79
	3	山口 莉輝	長崎北陽台	180	102
	2	小柳 琢登	佐賀工業	186	102
FB	2	人見 太基	伏見工業	173	90
	2	芳野 友	新田	174	76
	1	菅原 海人	京都工学院	171	85
	1	松山 千大	大阪桐蔭	172	87
	1	李 承信	大阪朝鮮	175	82
	4	石田 龍之介	京都成章	170	70
	4	金子 新	成蹊	178	84
	4	亀井 康平	摂津	176	75
	4	権 泰錫	東京朝鮮	177	82
	4	堀田 一成	桐蔭学園	177	82
MG	4	牧内 豪	流通経済大学付属柏	174	86
	3	河添 貴太郎	長崎南山	174	80
	3	神座 立樹	専修大学松戸	178	76
	3	木村 朋也	伏見工業	174	77
	3	杉永 将三	長崎南山	175	83
	3	平坂 海人	日向	176	82
	3	薬師寺 晃	大分舞鶴	174	85
	2	北埜 稜磨	常翔啓光学園	172	65
	2	梁 潤学	東京朝鮮	175	80
	1	岡崎 俊星	獨協埼玉	180	77
学生コーチ	1	富真 慶	流通経済大学付属柏	178	84
	1	南 成亮	東京朝鮮	172	77
	1	長谷川 毅	筑紫	175	82
	4	伊藤 匠	高岡第一	170	82
	4	井上 亮	高鍋	175	85
	4	宮上 廉	佐賀工業	178	90
	3	山田 悠馬	桐蔭学園	171	84
	2	小村 健太	Hamilton Boys High School	177	81
	2	上代 遼輔	専修大学松戸	173	71
	2	杉原 駿	大阪桐蔭	173	74
分析	1	大藪 洸太	中部大学春日丘	180	80
	1	谷中 樹平	御所実業	177	73
	1	二村 莞司	京都成章	179	83
	3	西山 幸佑	三好	178	100
	3	堀 真太郎	北越	170	83
	4	川畑 一航	静岡聖光学院	160	69
	2	増田 賢司	静岡聖光学院	166	66
	1	中根 誌音	静岡聖光学院	175	84
	4	中島 杏希	国本女子	157	
	3	島山 実希	國學院大学久我山	160	
マネージャー	3	安田 康介	崇徳	176	
	2	掛川 雪乃	文化学園大学杉並	166	
	2	島袋 うらら	普天間	157	
	2	中村 陽	城南	158	
	4	村上 果乃子	駒澤大学	150	

PLAYERS LIST 2019

2019年 帝京大学ラグビー部 スタッフリスト

 <p>総務 霜下 栄里 Eri Shimoshita カリフォルニア州立 大学ロングビーチ校</p>	 <p>アシレティックトレーナー 大木 学 Manabu Oki 国士舘大学 (有)トライ・ワークス</p>	 <p>BKコーチ 細野 太郎 Taro Hosono 日本大学 横浜市立吉田中学校</p>	 <p>部長 浪越 一喜 Itsuki Namikoshi 筑波大学大学院 帝京大学教育学部 初等教育学科教授</p>
 <p>総務 藤本 蕾 Tsubomi Fujimoto 東海大学</p>	 <p>アシレティックトレーナー 遠藤 大介 Daisuke Endo 東京健康科学専門 学校 (有)トライ・ワークス</p>	 <p>BKコーチ 小野 寛智 Hiroto Ono 帝京大学 NTTコミュニケーションズ(株)</p>	 <p>名誉顧問 増村 昭策 Shosaku Masumura 日本体育大学</p>
 <p>チームドクター 福田 潤 Jun Fukuda 藤沢湘南台病院 健康スポーツ部 部長</p>	 <p>アシレティックトレーナー 林川 将吾 Shogo Hayashikawa サザンミシシッピ大学 (有)トライ・ワークス</p>	 <p>チームアドバイザー 相馬 朋和 Tomokazu Soma 帝京大学 パナソニック ワイルドナイツ</p>	 <p>監督 岩出 雅之 Masayuki Iwade 日本体育大学 帝京大学医療技術学 部スポーツ医療学科、 スポーツ医学セン ター 教授</p>
 <p>チームドクター 小柳 匡史 Masashi Koyanagi 藤沢湘南台病院</p>	 <p>アシレティックトレーナー 関口 愛子 Aiko Sekiguchi 筑波大学大学院 帝京大学スポーツ 医学センター 助教</p>	 <p>スクラムアドバイザー 成 昂徳 Sung Angduk 帝京大学 三菱重工相模原 ダイナポアーズ</p>	 <p>FWコーチ 伊豆 尚久 Yoshihisa Izu 帝京大学 三井住友海上ファイ マリ-生命保険(株)</p>
 <p>薬剤師 國分 洋 Yo Kokubu 藤沢湘南台病院</p>	 <p>アシレティックトレーナー 鶴 健一朗 Kenichiro Tsuru 早稲田大学 帝京大学スポーツ 医学センター 助教</p>	 <p>ルールアドバイザー 徳留 誠 Makoto Tokudome 近畿大学</p>	 <p>FWコーチ 池田 智 Satoru Ikeda 帝京大学 三菱地所リアルエス テートサービス(株)</p>
 <p>治療スタッフ 佐藤 淳一 Junichi Sato オアシス馬引沢鍼灸 治療院</p>	 <p>アシレティックトレーナー 牧野 香利 Kaori Makino 日本工学院八王子 専門学校</p>	 <p>フィジカルコーチ 加藤 慶 Kei Kato 筑波大学大学院 帝京大学スポーツ 医学センター 助教</p>	 <p>FWコーチ 古田 義之輔 Yoshinosuke Furuta 駒澤大学 横浜市立特別支援 学校</p>
 <p>理学療法士 吉岡 慶 Kei Yoshioka 緑園ゆきひろ整形 外科</p>	 <p>管理栄養士 藤井 瑞恵 Mizue Fujii 順天堂大学 帝京大学スポーツ 医学センター 助教</p>	 <p>フィジカルコーチ 三上 紘典 Hirotomo Mikami イースタンウシントン 大学 帝京大学スポーツ 医学センター 助教</p>	 <p>FWコーチ 元 申騎 Shinki Gen 明治大学 サントリー酒類(株)</p>
 <p>理学療法士 天満 晃 Akira Tenma 緑園ゆきひろ整形 外科</p>	 <p>管理栄養士 堀内 麻央 Mao Horuchi 文教大学 帝京大学スポーツ 医学センター 助手</p>	 <p>フィジカルコーチ 福田 敏克 Toshikatsu Fukuda 帝京大学 帝京大学スポーツ 医学センター 助教</p>	 <p>BKコーチ 齋藤 信和 Nobukazu Saito 帝京大学</p>

PLAYERS LIST 2019

2019年 帝京大学ラグビー部 プレイーズリスト

分析

川畑 一航

Ikkō Kawabata

1997年8月21日生
医・スポーツ医療学科
神奈川県・静岡聖光学院高
160cm/69kg/O型

【ニックネーム】はちこう【性格】負けず嫌い【いつも心掛けてること】昨日の自分より今の自分が良くなるように変化し続ける【チームでの役割】平日の練習内容の撮影、映像の制作、試合をリアルタイムで映像に切り分ける



WTB/FB

学生コーチ

牧内 豪

Go Makiuchi

1997年4月10日生
医・スポーツ医療学科
長野県・流通経済大学付属柏高
174cm/86kg/AB型

【ニックネーム】マッキー【性格】どんなことにも計画的で几帳面【プレーの特徴】力強いランプレー【チームでの役割】力強いランプレーでトライを取りきる



CTB

学生コーチ

吉本 淳之助

Junnosuke Yoshimoto

1997年12月18日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・東筑高
171cm/80kg/A型

【ニックネーム】じゅん【性格】優柔不断で几帳面【プレーの特徴】思い切りの良いタックル【チームでの役割】タックルでチームの勢いをつくる



SH

寮長、主務補佐

徳井 彰真

Shoma Tokui

1998年1月16日生
教・教育文化学科
熊本県・荒尾高
177cm/80kg/A型

【ニックネーム】しょうま【性格】こだわりが強く、負けず嫌い【プレーの特徴】誰も追いつけないハイバントの高さ【チームでの役割】積極的なアタックで勢いをつくる



MG

マネージャー

中島 杏侑莉

Ayuri Nakajima

1997年7月8日生
経・経営学科
神奈川県・国本女子高
157cm/B型

【ニックネーム】あゆ、あゆり【性格】明朗快活【いつも心掛けてること】周りに暗いところを見せない



FB/CTB

伊藤 匠

Takumi Ito

1997年5月21日生
医・スポーツ医療学科
富山県・高岡第一高
170cm/82kg/O型

【ニックネーム】いっちゃん【性格】人思いで優しい【プレーの特徴】仕掛けで味方を活かすのが得意【チームでの役割】得意のアタックでチャンスをつくる



WTB/FB

石田 龍之介

Ryunosuke Ishida

1997年5月20日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
170cm/70kg/A型

【ニックネーム】りゅう【性格】明るい【プレーの特徴】ステップとスピード【チームでの役割】フィニッシャーとしてトライを取りきる



SO/CTB

会計

長野 成貴

Seiki Nagano

1998年3月12日生
教・教育文化学科
広島県・尾道高
181cm/91kg/O型

【ニックネーム】せいき【性格】細かいてこるまでやりきる【プレーの特徴】鋭いタックル、ハンドリング【チームでの役割】チームに流れをつくるタックル



FL/No.8

野沢 涼介

Ryosuke Nozawa

1997年11月26日生
医・スポーツ医療学科
神奈川県・山形英学学園高
180cm/102kg/AB型

【ニックネーム】りょうすけ【性格】優しい【プレーの特徴】鋭いタックル【チームでの役割】鋭いタックルでチームの流れを変える



LO/No.8

石井 祐次郎

Yujiro Ishii

1997年10月31日生
医・スポーツ医療学科
岡山県・金光学園高
182cm/103kg/B型

【ニックネーム】ゆうじろう【性格】思いやりがある【プレーの特徴】力強いコンタクトプレーでボールを前に運ぶ【チームでの役割】正確なラインアウトスキルでボールを獲得する



学生トレーナー

村上 果乃子

Kanako Murakami

1997年6月25日生
帝京平成大学
東京都・駒澤大学高
150cm/O型

【ニックネーム】かのこ、のこちゃん【性格】緊張しがり、負けず嫌いで気が強い【いつも心掛けてること】よく周りを見る、学生としてトレーナーとして誠実である



FB

井上 亮

Ryo Inoue

1997年10月21日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・高鍋高
175cm/O型

【ニックネーム】りょう【性格】冷静【プレーの特徴】思いきりの良いボールキャリアー【チームでの役割】チームに勢いを与えるボールキャリアーとして誠実である



WTB

主務

金子 新

Shin Kaneko

1997年9月22日生
医・スポーツ医療学科
東京都・成蹊高
178cm/84kg/O型

【ニックネーム】しん【性格】熱しやすく、冷めやすい、熱の幅を広げたい【プレーの特徴】力強いラン【チームでの役割】ランで前に出る



SO/CTB/WTB

平坂 怜磨

Ryoma Hirasaka

1997年6月30日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・日向高
167cm/73kg/B型

【ニックネーム】りょうま【性格】何事にも一生懸命取り組む【プレーの特徴】スペースを突くアタックと、味方を活かすパス【チームでの役割】フォワードとバックスをコントロールして、攻撃と守備の起点となる



FL

藤丸 翔太

Shota Fujimaru

1996年11月8日生
経・観光経営学科
福岡県・Rokurou Boys High School
172cm/92kg/AB型

【ニックネーム】まる【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】ボールキャリアーで相手のディフェンスラインを突破する【チームでの役割】タックルで試合の流れを変える



LO

副務

栗丸 大輝

Daiki Kurimaru

1998年3月4日生
医・スポーツ医療学科
佐賀県・佐賀工業高
183cm/103kg/B型

【ニックネーム】くり【性格】明るくマイペース【プレーの特徴】ボールキャリアー【チームでの役割】チームに勢いを与える



ポジション

役割

名前

NAME

生年月日

学科

出身地・出身高校

身長・体重・血液型

※学部については以下の通り
(医…医療技術学部、文…文学部、経…経済学部、教…教育学部、法…法学部)

【ニックネーム】

【性格】

【プレーの特徴】

【チームでの役割】



4th Grade

PLAYERS LIST

2019

Rugby

4年生

FB

宮上 廉

Ren Miyagami

1997年5月15日生
医・スポーツ医療学科
東京都・佐賀工業高
178cm/90kg/A型

【ニックネーム】れん【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】スピードを活かしたラン【チームでの役割】力強いプレーとスピードを活かしたランでチームを勢いづける



WTB/CTB/FL

学生コーチ

亀井 康平

Kouhei Kamai

1997年6月27日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・摂津高
176cm/75kg/O型

【ニックネーム】けん【性格】どんなことにも負けず嫌い【プレーの特徴】鋭いタックル【チームでの役割】チームを勢いづけるタックル



CTB

学生コーチ

新井 翼

Tsubasa Arai

1997年7月14日生
教・教育文化学科
埼玉県・流通経済大学付属柏高
175cm/85kg/O型

【ニックネーム】たけ【性格】人見知りだけど慣れるとよく喋る【プレーの特徴】低いタックル【チームでの役割】ラインアウト中心となってコントロールする



FL/No.8/LO

水谷 健人

Kento Mizutani

1997年11月12日生
医・スポーツ医療学科
神奈川県・秋田工業高
184cm/96kg/A型

【ニックネーム】湘南ボーイ【性格】人見知りだけど慣れるとよく喋る【プレーの特徴】低いタックル【チームでの役割】ラインアウト中心となってコントロールする



LO

学生コーチ

本山 尊

Takeru Motoyama

1998年2月23日生
医・スポーツ医療学科
大分県・大分東明高
191cm/108kg/A型

【ニックネーム】たけ、たける【性格】小まめで何事も誠実に取り組む【プレーの特徴】一生懸命身体を張り続ける【チームでの役割】ラインアウトをコントロールし、勝利に貢献する



PR

学生コーチ

室屋 翔生

Kakeru Muroya

1998年3月17日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・延岡星雲高
178cm/105kg/O型

【ニックネーム】ちゃんど【性格】オンとオフの切り替えができる【プレーの特徴】激しいタックル【チームでの役割】スクラムをコントロールする



PR

北 隼人

Hayato Kita

1997年6月20日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・筑紫高
178cm/105kg/O型

【ニックネーム】きた【性格】真面目【プレーの特徴】スクラムの姿勢が良い【チームでの役割】スクラムでゲームを安定させる



WTB/FB

権 泰錫

Kwon Tae Suk

1997年4月29日生
経・経営学科
東京都・東京朝鮮高
177cm/82kg/A型

【ニックネーム】てそ【性格】マイペース【プレーの特徴】ランでゲインラインを突破する【チームでの役割】タックルで体を張り、ランで前に出る



CTB

金 基英

Kim Ki Yong

1997年10月27日生
経・経営学科
東京都・東京朝鮮高
177cm/82kg/A型

【ニックネーム】きよん【性格】面倒見が良く優しい【プレーの特徴】正確なキック【チームでの役割】コンパージョンキック



WTB/FB

塩田 一成

Issei Shioda

1997年4月7日生
医・スポーツ医療学科
東京都・桐蔭学園高
177cm/82kg/O型

【ニックネーム】いっせい【性格】元気で取り組む【プレーの特徴】足の速さを活かしたプレー【チームでの役割】ランでゲインラインを突破する



CTB

主将

本郷 泰司

Tajji Hongo

1997年9月15日生
教・教育文化学科
東京都・京成成章高
180cm/93kg/B型

【ニックネーム】たいじ【性格】真面目で責任感がある【プレーの特徴】力強いキャッチ、激しいタックル【チームでの役割】激しいプレーでチームを勢いづける



SH

会計、主務補佐

諫山 光

Teru Isayama

1998年2月13日生
医・スポーツ医療学科
大分県・大分雄城台高
161cm/75kg/O型

【ニックネーム】てる【性格】地道にコツコツ慎重派【プレーの特徴】低いタックル【チームでの役割】フォワードをコントロールする司令塔



SH

学生コーチ

末 拓実

Takumi Sue

1998年3月8日生
教・教育文化学科
長崎県・長崎太陽高
164cm/70kg/A型

【ニックネーム】たくみ、すえ【性格】マイペースで几帳面【プレーの特徴】スペースを見て素早いラン【チームでの役割】テンポの早いさばきで流れをつくる



FL

副将

佐藤 羅雲

Ramo Sato

1997年4月8日生
医・スポーツ医療学科
徳島県・つるぎ高
185cm/102kg/A型

【ニックネーム】らも【性格】穏やかで勢田気を和ませる【プレーの特徴】激しいタックル【チームでの役割】正確なラインアウトスキルでボールを獲得する



FL/LO/No.8

ジョセファ ロガヴァツ

Josefa Logavatu

1995年6月14日生
医・スポーツ医療学科
フィジー・Hamilton Boys High School
194cm/105kg/A型

【ニックネーム】ジョー【性格】お茶目【プレーの特徴】アグレッシブなアタックとディフェンス【チームでの役割】激しさでチームを引っ張る



HO

齋藤 泰雅

Taiga Saito

1997年6月3日生
経・経済学科
東京都・國學院大学久我山高
174cm/104kg/A型

【ニックネーム】たいが【性格】穏やかで優しい【プレーの特徴】ボールキャリアーが好き【チームでの役割】周囲を鼓舞し続ける



HO/LO

文 相太

Mun Sae Tang

1997年10月25日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
182cm/98kg/O型

【ニックネーム】サンテ【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】ボールキャリアーで相手ディフェンスを切り開く【チームでの役割】スクラムで試合を有利に運ぶ



PR/LO

WTB

木村 朋也

Tomoya Kimura

1998年4月4日生
医・スポーツ医療学科
京都府・伏見工業高
174cm/77kg/O型

【ニックネーム】きむとも【性格】常に明るく笑顔【プレーの特徴】スピードを活かしたプレー【チームでの役割】フィニッシャー



CTB

尾崎 泰雅

Taiya Ozaki

1998年9月25日生
医・スポーツ医療学科
京都府・伏見工業高
182cm/86kg/AB型

【ニックネーム】たいが【性格】いつも明るく、場を盛り上げる【プレーの特徴】ステップで相手の裏に出てオフロード【チームでの役割】攻守共に前に出る激しいプレーをする



SO

相澤 賢志郎

Kenshiro Aizawa

1998年11月29日生
医・スポーツ医療学科
千葉県・流通経済大学付属柏高
171cm/73kg/A型

【ニックネーム】かんしろう【性格】おとなしく、たまに明るい【プレーの特徴】アタック面ではランニング、ディフェンス面ではタックルが強み【チームでの役割】声を出して周りを元気づける



FL/No.8

安田 司

Takasa Yasuda

1999年3月28日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・常翔学園高
180cm/105kg/B型

【ニックネーム】ガチャ【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】コンタクトプレーで前進【チームでの役割】激しいコンタクトプレー



FL/No.8

金 隆生

Kim Ryung Sang

1998年5月22日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・常翔学園高
180cm/102kg/AB型

【ニックネーム】りゅん【性格】ポジティブで負けず嫌い【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】誰よりもタフに動き続け、フォワードを引っ張る



HO

上片 風馬

Fuma Uekata

1999年3月29日生
医・スポーツ医療学科
長崎県・長崎北端台高
177cm/105kg/B型

【ニックネーム】ふうま【性格】グラウンド内では厳しく、外では優しい【プレーの特徴】フッカーとしてセットプレーの安定と前に出て倒すディフェンス【チームでの役割】フォワードを盛り上げる、身体を張り続ける



WTB/FB

杉永 将三

Shozo Suginaga

1998年7月18日生
医・スポーツ医療学科
長崎県・長崎南山高
176cm/83kg/AB型

【ニックネーム】すぎ、しよーぞー【性格】よく笑う【プレーの特徴】キックカウンターで前に出る【チームでの役割】後ろからのコミュニケーションでバックスリヤフォワードをコントロールする



CTB

ニコラス マカラン

Nicholas McCurran

1996年6月13日生
医・スポーツ医療学科
ニュージーランド・Hamilton Boys High School
188cm/90kg/O型

【ニックネーム】ニック【性格】シャイ【プレーの特徴】正確なパスと広い守備範囲【チームでの役割】広い視野で周りを活かす



SO/FB

奥村 翔

Kakeru Okumura

1998年6月10日生
医・スポーツ医療学科
京都府・伏見工業高
179cm/83kg/B型

【ニックネーム】かける【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】攻守共に前に出る【チームでの役割】正確な状況判断とゲームコントロール



No.8

築山 駿也

Shunya Tsukiyama

1998年9月8日生
医・スポーツ医療学科
長崎県・長崎南山高
181cm/102kg/AB型

【ニックネーム】しゅんや【性格】没頭しやすい【プレーの特徴】ボールキャリアー【チームでの役割】ボールキャリアーの強さ



FL

沓澤 北斗

Hokuto Kutsuzawa

1999年3月23日生
医・スポーツ医療学科
東京都・帝京八王子高
169cm/80kg/O型

【ニックネーム】ほくと【性格】いつも明るく、前向きな性格【プレーの特徴】低いタックルとスピードに乗ったアタック【チームでの役割】ピンチを救うタックルやジャッカル



HO/LO

加地 王虎

Kimataka Kaji

1998年6月10日生
医・スポーツ医療学科
京都府・伏見工業高
178cm/100kg/O型

【ニックネーム】きみ【性格】人見知り【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】激しいコンタクトで少しでも前へ出る



ポジション
名前の欄
3rd Grade
PLAYERS LIST 2019 Rugby
3年生

3rd Grade
PLAYERS LIST 2019 Rugby
3年生

WTB/CTB/FB

平坂 海人

Kaito Hirasaka

1999年1月20日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・日向高
176cm/82kg/A型

【ニックネーム】かいと【性格】負けず嫌い、ひとつのことに没頭しやすい【プレーの特徴】力強いランとフィジカルプレーが特徴【チームでの役割】ランプレーとタックルで試合の流れを変える



CTB

原 銀太郎

Gintaro Hara

1998年5月29日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・桐蔭学園高
172cm/79kg/B型

【ニックネーム】ぎん【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】タックルでチームに貢献【チームでの役割】アタックでもディフェンスでも体を張って前に出る



SO

北村 将大

Masahiro Kitamura

1998年8月29日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・御所実業高
171cm/83kg/A型

【ニックネーム】まさ【性格】何事も最後まで取り組む【プレーの特徴】状況判断、ゲームコントロール【チームでの役割】チームの勝利に繋がるゲームマネジメント



SH

重 海人

Kaito Shige

1998年5月20日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・鹿児島実業高
166cm/65kg/O型

【ニックネーム】かいと【性格】マイペース【プレーの特徴】正確なパス【チームでの役割】クオリティボールをテンポ良く出す



FL

高橋 怜雅

Ryoga Takahashi

1998年5月5日生
医・スポーツ医療学科
岩手県・黒沢尻北高
177cm/95kg/B型

【ニックネーム】りょう【性格】基本的に静かでおとなしい【プレーの特徴】低いタックルとスピードに乗ったアタック【チームでの役割】声を出して盛り上げる



HO

李 承燮

Lee Seung Hyuk

1999年1月27日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・大阪朝鮮高
179cm/105kg/B型

【ニックネーム】すんひょ【性格】ひとつの事に於いて夢中になる性格【プレーの特徴】フロントローとして最前線に体を張り、セットプレーを安定させる【チームでの役割】セットプレーの安定



PR

東浦 仁一朗

Junichiro Higashimura

1998年7月8日生
医・スポーツ医療学科
奈良県・上宮太子高
183cm/123kg/A型

【ニックネーム】じん、ひがし【性格】温厚で思いやりがある【プレーの特徴】力強いゴール前アタック【チームでの役割】安定したセットプレー



PR

近藤 芽吹

Ituki Kondo

1998年4月21日生
医・スポーツ医療学科
新潟県・新潟工業高
177cm/108kg/O型

【ニックネーム】ボク、いぶき【性格】明るく元気【プレーの特徴】接点の強さ【チームでの役割】セットプレーを安定させる



WTB/FB

薬師寺 晃

Koki Yakushiji

1998年11月16日生
医・スポーツ医療学科
大分県・大分舞鶴高
174cm/85kg/A型

【ニックネーム】くわ【性格】几帳面【プレーの特徴】ランやステップで相手を抜く【チームでの役割】ランプレーで相手のディフェンスラインを切る



CTB/WTB/FL

山口 莉輝

Riki Yamaguchi

1998年2月14日生
教・教育文化学科
長崎県・長崎北端台高
180cm/102kg/O型

【ニックネーム】りき【性格】何事も真面目に最後までやりきる【プレーの特徴】アタック面では力強いキャリアー、ディフェンス面では低いタックル【チームでの役割】声を出しチームを元気づけ、盛り上げる



SO

申 誠敏

Shin Seong Min

1998年4月10日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
170cm/76kg/A型

【ニックネーム】まじん【性格】穏やかで優柔不断【プレーの特徴】状況判断、ゲームコントロール【チームでの役割】相手をとめるディフェンスとエリアマネジメント



SH

土永 雷

Azama Doei

1998年12月24日生
教・教育文化学科
京都府・光泉高
167cm/67kg/A型

【ニックネーム】ひょう【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】パス【チームでの役割】フォワードとバックスをつなぐ



FL/No.8/PR

古田 勇作

Yusaku Furuta

1999年5月17日生
医・スポーツ医療学科
東京都・深谷高
180cm/107kg/B型

【ニックネーム】ゆう【性格】元気【プレーの特徴】ジョシュア【性格】ぶれない【プレーの特徴】体を活かしたボールキャリアー【チームでの役割】ボールを前に運ぶ



LO/No.8

オトジョシア 輝恵

Teruyoshi Joshua Oto

1998年10月7日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・八王子学園八王子高
191cm/113kg/O型

【ニックネーム】おと【性格】ぶれない【プレーの特徴】体を活かしたボールキャリアー【チームでの役割】ボールを前に運ぶ



PR

安岡 大樹

Daiki Yasuoka

1998年8月7日生
経・経済学科
埼玉県・東武高
173cm/108kg/A型

【ニックネーム】おと【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】ハードコンタクト【チームでの役割】スクラム、タックル



PR/HO

清水 岳

Gaku Shimizu

1998年11月22日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
174cm/105kg/A型

【ニックネーム】がく【性格】穏やかな性格、負けず嫌い【プレーの特徴】接点の強さ【チームでの役割】セットプレーを安定させ、チームに良い流れをつくる



FB/WTB

山田 悠馬

Yuma Yamada

1999年3月23日生
経・経済学科
東京都・桐蔭学園高
171cm/84kg/O型

【ニックネーム】ゆうま【性格】穏やか【プレーの特徴】相手を引きつけ、味方を活かす【チームでの役割】外側から声を出し、状況を伝えチャンスを活かす



WTB

河添 貫太郎

Kanataro Katwazoe

1998年5月23日生
医・スポーツ医療学科
長崎県・長崎南山高
174cm/80kg/B型

【ニックネーム】かん【性格】ポジティブで常に明るい【プレーの特徴】ランでゲインする【チームでの役割】ウイングとしてトライを取りきる



SO/FB

龍野 光太郎

Kotaro Tatsuno

1998年5月17日生
医・スポーツ医療学科
宮城県・佐賀工業高
170cm/81kg/O型

【ニックネーム】こうたろう【性格】マイペース【プレーの特徴】ステップ【チームでの役割】タックル、ゲームコントロール



SH

春野 日向

Hyuga Haruno

1998年12月28日生
医・スポーツ医療学科
神奈川県・東京高
167cm/73kg/A型

【ニックネーム】ひゅうが【性格】誰にでも優しく、負けず嫌い【プレーの特徴】運動量と速い球出し【チームでの役割】確かな指示でチームの流れをつくる



FL/LO

堀尾 英喜

Hideki Horio

1999年2月5日生
医・スポーツ医療学科
東京都・帝京八王子高
172cm/86kg/A型

【ニックネーム】ぼっぼ【性格】元気【プレーの特徴】サポートに寄るのが早い【チームでの役割】フランカーとして外から声を出してディフェンスラインを整える



LO

久保 克斗

Katsuto Kubo

1998年11月7日生
医・スポーツ医療学科
徳島県・国学院大学徳島高
191cm/108kg/O型

【ニックネーム】かつと【性格】何事にも真面目に取り組み、最後までやりきる性格【プレーの特徴】安定したセットプレー、激しいブレイクダウン【チームでの役割】目立たないところで体を張る



PR

渡邊 元太

Genta Watanabe

1998年2月26日生
医・スポーツ医療学科
大分県・大分白幡高
181cm/126kg/A型

【ニックネーム】なべ【性格】優しくおらかな性格【プレーの特徴】力強いコンタクトプレー、体重を活かした重いスクラム【チームでの役割】スクラムを最前列で押す



PR

田中 大介

Daisuke Tanaka

1998年11月16日生
医・スポーツ医療学科
宮城県・延岡星雲高
177cm/113kg/A型

【ニックネーム】D、だいつけ【性格】温厚【プレーの特徴】力強いボールキャリアーをし、ゲインラインを切る【チームでの役割】スクラムを押し相手にプレッシャーを与える



学生コーチ

西山 幸佑

Kosuke Nishiyama

1998年10月1日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・三好高
178cm/100kg/O型

【ニックネーム】ラルフ【性格】物静か【いつも心掛けていること】ポジティブでいる【チームでの役割】練習のサポート



WTB

神座 立樹

Tatsuki Kanza

1998年5月25日生
医・スポーツ医療学科
岩手県・専修大学松戸高
178cm/76kg/O型

【ニックネーム】タツキ【性格】いつも明るく人と話すことが好き【プレーの特徴】ランプレー【チームでの役割】前を見てスペースを見つけ、ボールを呼び込みトライを取る



CTB

岡村 晃司

Koji Okamura

1998年6月12日生
経・経済学科
奈良県・御所実業高
171cm/85kg/A型

【ニックネーム】おかじ【性格】明るくて、優しい【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】チャンスメーカー



SH

山地 健太

Kenta Yamaji

1999年3月17日生
経・経済学科
東京都・国学院大学栃木高
170cm/96kg/O型

【ニックネーム】やまじ【性格】どんな事にも几帳面【プレーの特徴】正確なパス【チームでの役割】速いパスさばきで、良いアタックにつなげる



FL

松本 健留

Kento Matsumoto

1998年7月11日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
176cm/96kg/O型

【ニックネーム】まつけん【性格】何事にも全力を尽くす【プレーの特徴】激しいタックルで勢いをつける【チームでの役割】タックル

分析

増田 賢司

Kenji Masuda

1999年4月6日生
経・経営学科
静岡県・静岡聖光学院高
166cm/66kg/O型

【ニックネーム】ますけん、けんじ【性格】楽観的
【プレーの特徴】計画して行動する【チームでの役割】コーチや選手が必要な情報を早く正確に共有する



CTB

芳野 友

Yu Yoshino

1999年6月5日生
教・教育文化学科
愛媛県・新田高
174cm/76kg/O型

【ニックネーム】ゆう【性格】人見知りだけど明るい【プレーの特徴】流れを変えれるタックル【チームでの役割】きつときでもタックルで流れを変える



SO/FB

金 裕平

Kim Yu Pyong

1999年6月11日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
173cm/87kg/B型

【ニックネーム】ゆうへい【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】前に出るタックル【チームでの役割】痛いプレーをする



No.8/FL

村田 空海

Kukai Murata

2000年2月9日生
医・スポーツ医療学科
埼玉県・国學院大学栃木高
177cm/87kg/B型

【ニックネーム】くう【性格】明るく元気で周りを明るくさせる【プレーの特徴】ボールを前に運ぶ【チームでの役割】フォワードとして前にボールを運ぶ



HO

照内 寿明

Toshiaki Teruuchi

1999年6月3日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・京都市立大
168cm/95kg/O型

【ニックネーム】てる【性格】好奇心旺盛【プレーの特徴】安定したスクラム、ボールキャリアー【チームでの役割】ボールキャリアーでチームを勢いづける



PR

ストイコビッチ ミーシャ

Mischa Stoykovich

1999年9月14日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・京都市立大
181cm/106kg/A型

【ニックネーム】ミーシャ【性格】誠実で、他人に対して思い遣りがある【プレーの特徴】勢いのあるボールキャリアー、安定したセットプレー【チームでの役割】力強いボールキャリアー、安定したスクラムを組める



MG

マネージャー

安田 康介

Kosuke Yasuda

1998年7月2日生
法・法律学科
広島県・崇徳高
176cm/B型

【ニックネーム】やす、やっさん【性格】穏やか【いつも心掛けていること】常に謙虚でひたむきに取り組む



学生コーチ

堀 真太郎

Shintaro Hori

1998年12月22日生
経・経営学科
新潟県・北越高
170cm/83kg/A型

【ニックネーム】ほりしん【性格】明るく元気【いつも心掛けていること】周りをよく見る【チームでの役割】練習のマネジメント



MG

マネージャー

掛川 雪乃

Yukino Kakegawa

1999年5月20日生
経・経営学科
石川県・文化学園大学杉並高
166cm/AB型

【ニックネーム】ゆっき、ゆきの【性格】一喜一憂【いつも心掛けていること】臨機応変に行動し、正確に仕事をする



WTB/SH

北埜 稜磨

Ryoma Kitano

1999年11月8日生
教・教育文化学科
大阪府・常翔啓光学園高
172cm/65kg/B型

【ニックネーム】りょうま【性格】どんな時も明るい【プレーの特徴】テンポの良いパスさばき【チームでの役割】状況判断と速いテンポづくり



SO/FB/CTB

金 諒

Kim Ryang

1999年11月10日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・大阪朝鮮高
185cm/92kg/A型

【ニックネーム】りやん【性格】陽気【プレーの特徴】勢いのあるキック【チームでの役割】しっかりとエリアマネジメントをする



No.8/FL/LO

リッチモンド トンガタ

Tongatama Richmond

1996年7月6日生
医・スポーツ医療学科
ニュージーランド・Otago College
188cm/129kg/B型

【ニックネーム】リッチー【性格】優しい【プレーの特徴】強いボールキャリアー【チームでの役割】ゲインを切って勢いをつくる



LO

藤原 清孝

Kiyotaka Fujiwara

1999年12月1日生
経・国際経済学科
岡山県・西高
177cm/93kg/O型

【ニックネーム】きよ【性格】明るく元気で前向きに頑張る【プレーの特徴】アグレッシブに前へゲインする【チームでの役割】フォワードとしてキャリアで前進する



PR

曹 光成

Cho Kwang Song

2000年3月30日生
医・スポーツ医療学科
和歌山県・大阪朝鮮高
175cm/110kg/O型

【ニックネーム】がんそん【性格】優しい【プレーの特徴】安定したセットプレー【チームでの役割】元気を与えられる

MG

マネージャー

畠山 実希

Miki Hatakayama

1998年7月21日生
経・経営学科
東京都・国学院大学久我山高
160cm/AB型

【ニックネーム】実希、ミキティ【性格】楽観的【いつも心掛けていること】誰よりも汗をかくて全力で取り組む

MG

マネージャー

島袋 うらら

Urara Shimabukuro

1999年6月11日生
医・スポーツ医療学科
沖縄県・普天間高
157cm/O型

【ニックネーム】うら、うらちゃん【性格】マイペースで素直【いつも心掛けていること】周りに左右されず自分の考えを常に持つ、いつでも笑顔でいる

WTB/FB

梁 潤学

Yang Yun Hak

2000年3月16日生
医・スポーツ医療学科
東京都・東京朝鮮高
175cm/80kg/B型

【ニックネーム】ゆなぎ【性格】とにかく明るい【プレーの特徴】スピードを活かしてトライにつなげる【チームでの役割】走ってトライにつなげる

SO/FB

志和池 豊馬

Tomu Shiwasaki

1999年8月6日生
医・スポーツ医療学科
宮崎県・日向高
176cm/81kg/A型

【ニックネーム】しわち【性格】マイペース【プレーの特徴】正確なキック【チームでの役割】キッカー

SH

石井 修真

Shima Ishii

1999年5月12日生
医・スポーツ医療学科
東京都・桐蔭学園高
168cm/76kg/O型

【ニックネーム】シュウマ【性格】明るく温厚な性格【プレーの特徴】どんなときにも正確なパスをつなげる【チームでの役割】正確なパスをつなげる

FL

上山 黎哉

Reiya Ueyama

1999年9月28日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
172cm/93kg/O型

【ニックネーム】れいや【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】前に出るタックル【チームでの役割】前に出て激しいプレーをし続ける

PR/HO

副務補佐

泓 城蓮

Joren Fuchi

1999年11月1日生
教・教育文化学科
岐阜県・関商工高
180cm/112kg/A型

【ニックネーム】じょうれん【性格】穏やか【プレーの特徴】スクラム【チームでの役割】スクラムの粘り強さ

MG

マネージャー

中村 陽

Hinata Nakamura

1999年9月10日生
香取大学短期大学現代ビジネス学科
大分県・城南高
158cm/A型

【ニックネーム】ひな、ひな丸【性格】負けず嫌い【いつも心掛けていること】常に笑顔で、一つひとつの仕事に愛情を込める

FB

小村 健太

Kenta Komura

1999年12月20日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・Hamilton Boys High School
177cm/81kg/B型

【ニックネーム】こむけん【性格】明るく温厚【プレーの特徴】ランとオフロード【チームでの役割】自分でも前に出つつ、周りを活かす

SO/CTB

西川 虎哲

Kotetsu Nishikawa

1999年12月17日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
168cm/78kg/AB型

【ニックネーム】こてっちゃん【性格】マイペース【プレーの特徴】タックル【チームでの役割】流れを変えるタックル

SH/FB/WTB

白國 亮大

Ryodai Shirakuni

2000年2月29日生
医・スポーツ医療学科
京都府・光泉高
165cm/69kg/A型

【ニックネーム】たいせー【性格】いつも笑顔で明るい【プレーの特徴】素早くステップを活かしたランプレー【チームでの役割】ウイングとしてトライを取りきる

FL

大塚 碧生

Aoi Otsuka

1999年8月1日生
医・スポーツ医療学科
新潟県・桐蔭学園高
181cm/98kg/A型

【ニックネーム】あおい【性格】穏やか【プレーの特徴】タックル【チームでの役割】タックルで身体を張る

PR/HO

細木 康太郎

Kotaro Hosoki

2000年1月28日生
医・スポーツ医療学科
新潟県・桐蔭学園高
177cm/110kg/O型

【ニックネーム】ほっきー【性格】誰とでも仲良くなれる【プレーの特徴】激しいコンタクトプレー【チームでの役割】激しいプレーでチームを鼓舞

ポジション 名前 2nd Grade PLAYERS LIST 2019 Rugby 2年生

FB/WTB

上代 遼輔

Ryosuke Jodai

1999年6月13日生
教・教育文化学科
千葉県・専修大学松戸高
173cm/71kg/A型

【ニックネーム】じょうだいい【性格】元気【プレーの特徴】ステップで相手を抜く【チームでの役割】トライを取る

CTB

小柳 琢登

Takuto Koyanagi

1999年12月7日生
医・スポーツ医療学科
千葉県・佐賀工業高
186cm/102kg/O型

【ニックネーム】やなぎ、ぎー【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】どんなときでも相手ディフェンスラインを崩す【チームでの役割】強いコンタクトをしてゲインする

SH

藤原 大成

Taisei Fujiwara

1999年6月27日生
教・教育文化学科
千葉県・専修大学松戸高
163cm/70kg/AB型

【ニックネーム】たいせー【性格】いつも笑顔で明るい【プレーの特徴】正確なパスと状況に応じた裏へのキック【チームでの役割】フォワードをコントロールさせて良いテンポでボールを供給する

FL

森田 雅之

Masayuki Morita

1999年5月4日生
教・教育文化学科
神奈川県・桐蔭学園高
180cm/83kg/O型

【ニックネーム】まさ、マー坊【性格】気負わない【プレーの特徴】運動量と低いタックル【チームでの役割】タックルなどでモメンタムを生む

PR

山本 溪太

Keita Yamamoto

1999年6月27日生
医・スポーツ医療学科
東京都・国学院大学久我山高
177cm/105kg/B型

【ニックネーム】やまちゃん【性格】穏やかでフレンドリーな性格【プレーの特徴】激しいプレイクダウンでプレッシャーをかける【チームでの役割】常にセットプレーを安定させる

PR

後藤 孝輔

Kosuke Goto

1999年9月9日生
教・教育文化学科
千葉県・専修大学松戸高
174cm/105kg/A型

【ニックネーム】ゴッツ、おっさん【性格】ポジティブ【プレーの特徴】常に攻撃的なスクラムを組む【チームでの役割】つらいときでも力強いボールキャリアー

PR

伊藤 健人

Kenji Ito

1999年4月21日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・中部大学春日丘高
181cm/100kg/O型

【ニックネーム】いとけん【性格】穏やか【プレーの特徴】どんなときも勢いのあるアタック【チームでの役割】アタックの流れを止めない

FB/WTB

杉原 駿

Kakeru Sugihara

1999年12月15日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
173cm/90kg/AB型

【ニックネーム】かける【性格】几帳面【プレーの特徴】ランプレー【チームでの役割】スピードのあるアタック

CTB/FB/WTB

人見 太基

Taki Hitomi

1999年12月6日生
医・スポーツ医療学科
京都府・伏見工業高
173cm/90kg/A型

【ニックネーム】たいちゃん【性格】明るくポジティブ【プレーの特徴】周りを見て判断する【チームでの役割】流れを変えるタックル

SO/FB

押川 敦治

Atsushi Oshikawa

1999年5月22日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・京都成章高
172cm/80kg/B型

【ニックネーム】おし【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】ギャップへの仕掛け【チームでの役割】ゲームメイク

No.8

中野 光基

Koki Nakano

2000年3月10日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
180cm/105kg/AB型

【ニックネーム】こうき【性格】どんなときも冷静【プレーの特徴】力強いボールキャリアー【チームでの役割】アタックでのベネトレイト

HO/FL

大澤 陸大

Rikuto Osawa

1999年8月10日生
医・スポーツ医療学科
岩手県・奥沢尻北高
169cm/94kg/A型

【ニックネーム】りくと【性格】意志が強い【プレーの特徴】低くて鋭いプレー【チームでの役割】目立たないところで身体を張る

PR

小林 恵太

Keita Kobayashi

1999年8月4日生
医・スポーツ医療学科
宮城県・宮崎西高
174cm/107kg/O型

【ニックネーム】こば【性格】温厚【プレーの特徴】低いタックルで相手を止める【チームでの役割】セットプレーを安定させて勢いのあるプレーをする

PR

奥野 翔太

Shota Okuno

2000年1月15日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・常翔学園高
177cm/107kg/O型

【ニックネーム】しょうた【性格】温厚だがラグビーでは闘志を出す【プレーの特徴】激しいボールキャリアー【チームでの役割】安定したセットプレーで

FB/WTB

二村 莞司

Kanji Futamura

2001年1月14日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
179cm/83kg/B型

【ニックネーム】かんじ【性格】明るく元気【プレーの特徴】ラン【チームでの役割】チャンスメイク



WTB

長谷川 毅

Tsuyoshi Hasegawa

2000年9月5日生
経・経営学科
福岡県・筑紫高
175cm/82kg/AB型

【ニックネーム】つよぼん【性格】マイペース【プレーの特徴】半ずれをつくり、瞬間のスピードでゲインを切ったりアシストする【チームでの役割】少ないチャンスで少しでもゲインを切る



CTB

菅原 海人

Kaito Sugahara

2000年8月21日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都工学院高
171cm/85kg/B型

【ニックネーム】すが【性格】前向き【プレーの特徴】相手に負けずに前へ出る【チームでの役割】タックルでチームを勢いづける



SH

紫垣 幸之介

Konosuke Shigaki

2000年12月13日生
医・スポーツ医療学科
熊本県・信志高
166cm/73kg/A型

【ニックネーム】こうちゃん【性格】社交的【プレーの特徴】どの位置からでもバントをあげられる【チームでの役割】テンポを上げてチームを勢いづける



FL

山川 一瑛

Issa Yamakawa

2000年7月5日生
医・スポーツ医療学科
京都府・常翔学園高
188cm/86kg/A型

【ニックネーム】いっさ【性格】明るくて元気【プレーの特徴】ハンドオフで相手を抜く、オフロードパスでチャンスをつくる【チームでの役割】外から状況判断をしてチャンスをものにする



LO

アレクサンダー・マクロービー

Alexander McRobbie

2000年2月14日生
医・スポーツ医療学科
ニュージーランド・St.Kerigern College
195cm/95kg/B型

【ニックネーム】アレックス【性格】クール【プレーの特徴】ハードワーク【チームでの役割】長身を活かしたラインアウト



分析

中根 誌音

Shion Nakane

2000年7月10日生
文・心理学科
愛知県・静岡聖光学院高
175cm/84kg/B型

【ニックネーム】シオン【性格】常に明るい【いつも心掛けてること】速くきれいに正確に仕事をする【チームでの役割】早く動画をつくって届ける



FB/WTB

大藪 洸太

Kota Oyabu

2001年3月5日生
医・スポーツ医療学科
愛知県・中部大学春日丘高
180cm/80kg/O型

【ニックネーム】ヤブ【性格】誰とでも仲良くなる【プレーの特徴】スピードあるプレーでの突破【チームでの役割】スピードあるプレーでチームに勢いを与える



CTB

松山 千大

Chihiro Matsuyama

2001年1月5日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
172cm/87kg/O型

【ニックネーム】ちひろ【性格】明るい【プレーの特徴】コンタクトプレー【チームでの役割】体を張る



SH/WTB

田中 怜

Rei Tanaka

2000年12月9日生
教・教育文化学科
長崎県・長崎北陽台高
173cm/66kg/B型

【ニックネーム】レイ【性格】どんな事にも負けず嫌い【プレーの特徴】ステップで相手を抜く【チームでの役割】ボールをもらったらゲインしてチームを勢いづける



FL/No.8

山添 圭祐

Keisuke Yamazoe

2000年7月1日生
教・教育文化学科
長崎県・長崎北陽台高
177cm/97kg/AB型

【ニックネーム】ぞえ、やまぞえ、けいすけ【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】激しいボールキャリアー【チームでの役割】ゲインラインを突破する



LO

江里口 真弘

Masahiro Enguchi

2000年5月5日生
医・スポーツ医療学科
福岡県・大分東明高
184cm/113kg/A型

【ニックネーム】えり、まさ【性格】明るく元気【プレーの特徴】力強いボールキャリアー【チームでの役割】力強いボールキャリアーでアタックの勢いをつくる



ポジション
名前
生年月日
学級
出身地・出身高校
身長/体重/血液型
※学部については以下の通り
(医…医療技術学部、文…文学部、経…経済学部、教…教育学部、法…法学部)
【ニックネーム】
【性格】
【プレーの特徴】
【チームでの役割】

1st Grade
PLAYERS LIST
2019 Rugby
1年生

FB

谷中 樹平

Kippel Tanimaka

2000年6月4日生
教・教育文化学科
兵庫県・御所実業高
177cm/73kg/O型

【ニックネーム】きっちゃん、べい【性格】コミュニケーションを取るのが得意、誰とでも仲良くなる【プレーの特徴】左足のキックと一発で倒すタックル【チームでの役割】クオリティボールを供給する、良いタックルで流れをつくる



CTB

李 承信

Lee Sung Shin

2001年1月13日生
医・スポーツ医療学科
兵庫県・大阪朝鮮高
175cm/60kg/B型

【ニックネーム】すんしん【性格】几帳面【プレーの特徴】ハンドリング【チームでの役割】チャンスメイク



SH

前田 翔哉

Shoya Maeda

2001年3月27日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・常翔学園高
163cm/60kg/B型

【ニックネーム】しょうや【性格】明るい、負けず嫌い【プレーの特徴】自分がオポジションになれる【チームでの役割】クオリティボールを供給する



FL/LO

ミティツツケカワアラ

Mitsei Tsukakawara

1999年1月20日生
医・スポーツ医療学科
アイオワ・St.Joseph's College/Hunters Hill
185cm/108kg/B型

【ニックネーム】ミティ【性格】明るい【プレーの特徴】ダイナミックなラン【チームでの役割】流れを変えるインパクト



LO

菅井 一樹

Kazuki Sugai

2000年9月25日生
経・経営学科
千葉県・八千代松陵高
187cm/106kg/A型

【ニックネーム】官房長官【性格】明るく優しい【プレーの特徴】コンタクトプレーで必ず前に出る【チームでの役割】前に出てチームを勢いづける



PR

高井 翔太

Shota Takai

2000年5月24日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・常翔学園高
171cm/105kg/O型

【ニックネーム】翔太【性格】活発的【プレーの特徴】勢いのあるボールキャリアー、スクラム【チームでの役割】ボールキャリアーでみんなを鼓舞する



PR

上路 慶人

Keito Ueki

2000年4月15日生
教・教育文化学科
滋賀県・光栄高
170cm/89kg/A型

【ニックネーム】うえじ【性格】穏やかで優しい【プレーの特徴】アタックで相手をずらして必ずゲインする【チームでの役割】声を出して雰囲気盛り上げる



WTB

岡崎 俊星

Shunsei Okazaki

2000年10月30日生
医・スポーツ医療学科
千葉県・獨協埼玉高
180cm/77kg/B型

【ニックネーム】オカ、ザキ【性格】大人数でいるのも良い【プレーの特徴】比較的一人が好き【プレーの特徴】足に自信があるのでスピードを活かす【チームでの役割】トライを取る



SO

金 憲輝

Kim Honi

2001年11月20日生
経・国際経済学科
東京都・東京朝鮮高
173cm/82kg/AB型

【ニックネーム】ホニ【性格】明るく優しい【プレーの特徴】体が張るプレー【チームでの役割】コールドをみんなを引っ張る



WTB

當眞 慶

Kai Yoma

2000年8月7日生
医・スポーツ医療学科
沖縄県・流通経済大学付属高柏高
178cm/84kg/O型

【ニックネーム】けい【性格】人見知りだが、話せば誰とでも仲良くなる【プレーの特徴】コンタクトプレーで必ず前に出る【チームでの役割】コンタクトプレーで必ず前に出る



SO

高本 幹也

Mikya Takamoto

2001年3月15日生
医・スポーツ医療学科
大阪府・大阪桐蔭高
171cm/80kg/B型

【ニックネーム】みきや【性格】自由奔放【プレーの特徴】状況判断【チームでの役割】良い判断でチームを導く



No.8/HO/PR

屋部 謙仁

Kenji Yabu

2001年1月30日生
医・スポーツ医療学科
沖縄県・名護高
175cm/96kg/O型

【ニックネーム】やぶ【性格】慣れるまで無口【プレーの特徴】アタックとタックル【チームでの役割】フォワードとバックスをつなぐパス



LO

長谷川 翔舞

Shoma Hasegawa

2000年8月2日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都工学院高
184cm/115kg/A型

【ニックネーム】はせせしや【性格】とにかく明るく、元気がある【プレーの特徴】コンタクトプレー、ボールキャリアー【チームでの役割】前に出続ける、エネルギーを出す



PR

崔 暢賢

Choi Chang Hyun

2001年1月25日生
医・スポーツ医療学科
秋田県・秋田工業高
179cm/110kg/AB型

【ニックネーム】チャンヒョン【性格】負けず嫌い【プレーの特徴】力強いセットプレーとスクラムでチームに貢献する【チームでの役割】セットプレーを安定させる



PR

金森 栄人

Eito Kanamori

2001年1月25日生
医・スポーツ医療学科
秋田県・秋田工業高
175cm/120kg/B型

【ニックネーム】ましゅ【性格】何事も真面目に取り組むことができ、オンとオフが切り替えられる【プレーの特徴】コンタクトプレーとスクラムでチームを勢いづける【チームでの役割】チャンスや、きつときの声掛けとコンタクトプレーで勢いづける



WTB/FB

南 成亮

Nam Sung Ryang

2000年7月11日生
経・経済学科
東京都・東京朝鮮高
172cm/77kg/A型

【ニックネーム】みなみ【性格】明るい【プレーの特徴】スラしてしっかりゲインする【チームでの役割】得点してチームを勢いづける



SO/CTB

湯浅 宏太

Kota Yuasa

2000年6月6日生
医・スポーツ医療学科
東京都・桐蔭学園高
170cm/74kg/AB型

【ニックネーム】こうた【性格】温厚で人懐っこい【プレーの特徴】スペースを見つけてそこに運ぶ【チームでの役割】何回もゲインしてチームを鼓舞する



SH

片岡 祐二

Yuji Kataoka

2000年12月17日生
医・スポーツ医療学科
京都府・京都成章高
159cm/71kg/A型

【ニックネーム】チョナン【性格】前向きで我慢強い【プレーの特徴】正確なパスさばき【チームでの役割】テンポを作り出し勢いのあるアタックをする



FL/No.8

鎌田 イリヤ

Iriya Kamata

2000年8月13日生
医・スポーツ医療学科
徳島県・御所実業高
175cm/83kg/A型

【ニックネーム】いりちゃん【性格】何事にも負けず嫌い【プレーの特徴】タックルが激しい【チームでの役割】タックルで勢いづける



HO

福井 翔

Sho Fukui

2000年5月6日生
医・スポーツ医療学科
京都府・東福岡高
171cm/90kg/B型

【ニックネーム】ショー【性格】明るい【プレーの特徴】泥臭いプレー【チームでの役割】激しくコリジョン



PR

小松 桃斗

Momoto Komatsu

2000年9月17日生
医・スポーツ医療学科
宮城県・高橋高
177cm/123kg/B型

【ニックネーム】もも【性格】明るい、お調子者、人見知りしない【プレーの特徴】力強いプレー【チームでの役割】スクラム



帝京大学幼稚園 ラグビー教室

帝京大学百草グラウンドに帝京大学幼稚園の年長さんを招き、ラグビー教室を開催。リレーや鬼ごっこ、ラインアウト体験など、元気いっぱい一生懸命取り組む姿に、部員一同たくさんのパワーとエネルギーをもらいました！



清掃活動

合宿所やグラウンド、クラブハウスを中心に近隣の道路などの清掃活動を、上級生たちが中心となって月に一度実施しています。



プライベートルーム



プライベートルームは、上級生と下級生が同じ部屋で生活しながら、信頼関係を築いていきます。部屋ごとにこだわりが見え隠れするのもおもしろい！

長年集めている
こだわりのシューズ
ボトルキャップ！



ラグビー部 合宿所紹介

帝京大学ラグビー部は全寮制で、全部員が3カ所の合宿所に分かれて暮らしています。常に良いプレーを発揮するには、充実した生活環境を整えることが大切！

食堂

バランスの良い食事を、しっかりとるのも重要。上級生が炊事やトレーニングの片づけを担当し、下級生から順番に食事をとっていきます。席は自由で、食事中も各テーブルで笑い声が絶えません！



Staff Message

一人ひとりに寄りそった食育

私たち管理栄養士の仕事は、「食事」を通じた選手のサポート。一人ひとりの選手がいつ、何を、どのくらい食べるのかをプランニングし、実際に食べるものの準備、手配などをします。大学4年間のみで終わるのではなく、卒業後も自分で栄養管理ができるように指導しています。また、練習や試合の場に帯同し、何かあればその場で話を聞き、小さな変化も見逃さないよう心がけています。



食堂では管理栄養士の藤井瑞恵先生と堀内麻央先生が、体組成や血液検査のデータを用いて一人ひとりにアドバイスしてくれます。

POINT





OFF SHOT GALLERY 2018-2019



キャプテンシーの真価

2019年9月20日に開幕する『ラグビーワールドカップ2019日本大会』。トップリーグで活躍し、今度は日本代表として世界に挑む、帝京大学ラグビー部OBが一堂に会した。彼らの強さの根幹には、帝京大学ラグビー部での学びがあると言う。彼らが胸に燃やし続ける“帝京魂”に触れ、2019年度主将・本郷泰司は何を思うのか。

坂手 他大学が帝京大学をターゲットにしてくる中、大変だったと思う。でも、切磋琢磨して成長し、良い顔で戦っていると思った。今年はさらに成長してくれると期待している。

中村 OBとしては、今シーズンがより楽しみになった。負けたあとの帝京大学ラグビー部の迫力をどこまで見せてもらえるか。どう戦うかのプロセスを楽しみに見ていきたい。

本郷 約150人という大所帯だと、堀江さんも言われたように、どうしてもチーム内で温度差が生まれてしまいます。その

大切なのは負けたあとどう行動するか

堀江 全員が同じモチベーションというのは難しいけれど、全員がどういったラグビーをするのかは分かっているといけない。このラグビーで本当に勝てるのか？と何人かが思い始める。チームはバラバラになる。モチベーションが低い人がいるのは仕方がないけれど、そんな人でも、俺たちはこういうラグビーをするんだ、っていうのは共有していないといけない。さらに、こういうラグビーをやれば勝てるんだ、っていう自信を共有できれば、良い方向に進む。どんな戦術や戦略も、全員がそれを理解していれば強い。

中村 温度の低い人でも、チームから求められているとか、チーム内の自分の価値を見出せる。自分には価値を見出し、自分から動くようになる。

本郷 今日では先輩たちに、さまざまなお話をうかがえればと思います。まず、先輩たちから見た昨年度の帝京大学ラグビー部の印象は、どうでしたか。

堀江 大切なのは負けたあと、ここからどうしていくか。それをしっかりと考えて、次に進んでほしい。

中村 これまではフィジカルで上回って勝ってきたけれど、他大学も追いついてきて、そこだけでは戦えなくなってきた。日本代表に選ばれるような、高いレベルのプレーヤーが集まる環境でプレーしていて感じるのは、スキルの大切さ。スキルには限界がないので、高めていってほしい。

堀江 自分だけではなく、周りの人にまず頼ること。あと、さっき言ったけれど、やる気がないのとラグビーの戦術理解ができないのは別問題。チームにいるなら、それは誰でも理解していないといけない。日本代表でもそうだけれど、自分たちのラグビーが信じられないなら、そこにいる資格がない。だから、自分たちのラグビーを理解させられる人を各所に配置する。それがリーダーの役割。

流大 サントリーサンゴリアス、主将

松田力也 パナソニックワイルドナイツ

堀越康介 サントリーサンゴリアス

本郷泰司 2019年度主将



中村亮土

サントリーサンゴリアス
2013年度卒・主将



坂手淳史

パナソニックワイルドナイツ
2015年度卒・主将



姫野和樹

トヨタ自動車ヴェルブリッツ・主将
2016年度卒



本郷泰司

2019年度主将

堀江翔太

パナソニックワイルドナイツ
2007年度卒・主将



流大

サントリーサンゴリアス、主将
2014年度卒・主将



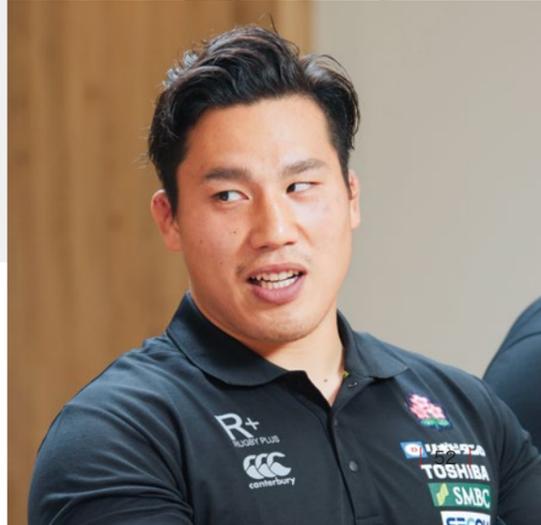
松田力也

パナソニックワイルドナイツ
2016年度卒・副将



堀越康介

サントリーサンゴリアス
2017年度卒・主将



堀越 僕もキャプテンになったとき、同じことを思った。温度差に気づいても、なかなか変えられなかったけれど、腹を割って「チームとしてこういう目標で行くから、おまえにはこれをやってほしい」と、上のチームや下のチーム関係なしに話をしていくうちに、どんどんやりやすくなった。あとは、学生コーチに頼る。「こだけ頼む」と責任を分散させていくと、自分がないところでもみんなが責任を持ってやってくれて、どんどん良い方向に向かっていった。坂手 自分のことで精一杯に気がちだけれど、助け合いながら、仲間と一緒にやっていくのが良い。

まずは自分を知らる

本郷 話をするときの言葉の重みや説得力をもっとつけたいのですが、どんなことが必要でしょうか。

姫野 重みはまずは行動で示す。あとは自分の言葉で相手に伝えること。

松田 かっこ良いことを言おうとし過ぎると、逆にそれを見透かされてしまう。自分の思ったことを、本音で言うのが良い。

坂手 僕も四年生でキャプテンを務めたとき、言葉のことですごく悩んだ。言葉の重みが出な

いと。でも、あんまり言葉に縛られてしまうと、今度は自分のびのびとプレーができない。流、まずチームの空気感を感じ取る。言わなくてもいいことを言う必要はない。自分の思っていることだけ言えばいいし、思っている、今、それを言ってみんなに響くのか。あえて言わずに終わってしまう方が良くもきもある。

堀野 リーチ(マイケル)さんは「チームが良い状況のときは、俺は目立たなくていい。でも、チームが窮地に立ったときには俺が行く」と言っていた。

流 窮地に立たされたときに何を言うか。でも、そこでは自分のプレーが第一で、それにプラスして一言あればいい。試合中でも練習後でも、人には言葉を受け入れられるキャパシティがある。試合中ならひとつ。いろいろなことを言っても、次にポジショニングしたときには忘れてる(笑)。本当に必要なこと以外は、あえて言わない方がいい場合も多い。

本郷 キャプテンに必要な資質とは何でしょうか。

堀越 自分の話で言うと、まず態度をしっかりとすることを強く意識していた。口先だけにならないこと、言い訳をしないこと、そして、しっかり考えて行動すること。

自覚は持つこと。流 偉そうにしないこと、自分が一番ハードワークすること。「協力してほしい」と頼んだときに「本郷のためなら喜んで」と言ってもらえるような人間になることかな。

中村 僕のひとつ上の代の泉(敬)さんというキャプテンは、キャプテンになるまでAチームの公式戦に出ることがなかった。ぐいぐい引つ張るタイプじゃない。でも、最後は「この人を胴上げしたい」と思わせるようなキャプテンだった。円陣でも話すの一言だけだったけれど、それがすごく重く感じた。常にチームのことを考えて、しんどくてもそういった部分を見せない。引つ張ってみんなを連れて行くタイプのキャプテンもいれば、みんなが持ち上げてくれるようなキャプテンもいる。

小さな成功を全員で喜ぶ

本郷 帝京大学ラグビー部で学んだことや経験したことは、社会でどう活かしていますか。

松田 人としての部分。言葉遣いもそうだし、きちんと考えて行動や発言をするとか。そういうことって急にはできないので、日頃からやっていないと。帝京大学ラグビー部では、それをやり続ける環境があった。例えば、

堀野 まず、自分を知らることも大切。自分はどういったリーダーシップを取れるのか、自分のやれることは何か。その上で、できないことは人に頼る。

堀江 俺はキャプテンという自覚はあっても、あえてキャプテンだと思わないようにしていた。上に立つて偉そうにしない。キャプテンではあるけれど、みんなと同じプレーヤーの一人。みんなと一緒に行動して、愚痴も言ってる。その方が後輩たちも話しやすいと思うし。ただ、胸の奥に

自分たちのラグビーを信じさせる。それがリーダーの役割

(堀江 翔太)

きた人たち、精神力の強い人たちばかりだと思う。そういう強さは、帝京大学ラグビー部の厳しい練習で培われたと思う。

本郷 今年のチームは、その「這い上がる」気持ち、劣勢に立たされたときにはね返けるエナジーを出せる人が少ないように感じています。

中村 サントリーも一時期、勝つのが当たり前になっていたときがあった。トライするのは当たり前。大(流)がキャプテンのときに「小さい成功を全員で喜べる形をつくらう」ということで、トライを取ったら全員が迎えにいった喜んで、良いタックルをした選手に声を掛けにいたり、ジャッカルしたらその選手を称えたりという、小さな成功を全員で分かちあうことでチームのエネルギーがグッとアップした。試合の中でチームがひとつになれるようにすれば、勢いも出てチームも引き締まった。

流 スクラムを押し、WTBがFWのところまで走って寄ってくることで、それまではなかったから。

中村 WTBが独走でトライしても、PRに「おまえらのおかげだ」と言っていて、一緒に称えあったり。多少嘘っぽくてもいい。流 本郷のキャラもあるだろうから、他のリーダーにも頼った



帝京大学ラグビー部OBが所属する主な社会人チーム

社会人チームで活躍する多くのOBたち。プレイヤーとしてはもちろん、指導者としても、高い評価をいただいております。

■トップリーグ

神戸製鋼コベルコスティーラーズ
平原大敬 (PR, No.8, 08年度卒)
重一生 (CTB, 16年度卒)
プロディ・マカラン (FL, 18年度卒・副将)
今村陽良 (LO, 18年度卒)
小畑健太郎 (SH, 18年度卒)

サントリーサンゴリアス
ヘンドリック・ツイ (FL, 10年度卒)
須藤惇 (分析, 12年度卒)
中村亮士 (CTB, 13年度卒・主将)
森川由紀之 (PR, 14年度卒)
流大 (主将・SH, 14年度卒・主将)
飯野晃司 (LO, 16年度卒)
堀越康介 (FL, 17年度卒・主将)
尾崎晟也 (WTB, 17年度卒・副将)

ヤマハ発動機ジュビロ
矢富洋則 (CTB, 17年度卒)
岡本慎太郎 (PR, 18年度卒)
田上悠 (SH, 18年度卒)

トヨタ自動車ヴェルブリッツ
吉田康平 (PR, 11年度卒)
滑川剛人 (SH, 11年度卒)
竹田直純 (FB, 13年度卒)
浅堀航平 (PR, 15年度卒)
竹井勇二 (PR, 16年度卒)
姫野和樹 (主将・FL, 16年度卒)
垣本竜哉 (PR, 17年度卒)
吉田杏 (FL, No.8, 17年度卒)
岡田優輝 (CTB, 17年度卒)
浅岡俊亮 (PR, 18年度卒)
秋山大地 (LO, 18年度卒・主将)

NTTコミュニケーションズシャイニングアークス
金嶺志 (LO, 16年度卒)
平井将太郎 (PR, 17年度卒)

パナソニックワイルドナイツ
相馬朋和 (ヘッドコーチ, 99年度卒)
堀江翔太 (HO, 07年度卒・主将)
権裕人 (CTB, 14年度卒)
坂手淳史 (HO, 15年度卒・主将)
金田英司 (CTB, 15年度卒)
森谷圭介 (CTB, 15年度卒)
松田力也 (SO, 16年度卒・副将)
竹山晃輝 (WTB, 18年度卒・副将)

リコーブラックラムズ
辻井健太 (PR, 11年度卒)
牧田旦 (CTB, 13年度卒)
濱野大輔 (主将・CTB, 15年度卒)
大西将史 (HO, 16年度卒)
西和磨 (PR, 17年度卒)

Honda HEAT
小西大輔 (主務, 05年度卒)
朴成基 (SO, 14年度卒)
服部航介 (FL, 15年度卒)
伊藤秋祥 (SH, 15年度卒)
伊藤和昌 (PR, 16年度卒)
古田凌 (No.8, 17年度卒)
呉季典典 (HO, 18年度卒)

NECグリーンロケッツ
大和田立 (FL, 13年度卒)
亀井亮依 (主将・FL, 16年度卒・主将)
金村良祐 (CTB, 16年度卒)
飯山竜太 (WTB, 16年度卒)

富貴塚 (PR, 18年度卒)
吉川浩貴 (SH, 18年度卒)

東芝ブレイルーバース
森太志 (HO, 10年度卒)
森田佳寿 (アシスタントコーチ, 11年度卒・主将)
李聖彰 (FL, 13年度卒)
小瀬尚弘 (LO, 14年度卒)
深村亮太 (PR, 15年度卒)

キヤノンイーグルス
南橋直哉 (CTB, 11年度卒)
天野寿紀 (SH, 12年度卒)
菅谷優 (採用, 12年度卒)
東恩納寛太 (PR, 14年度卒)
杉永亮太 (FL, 14年度卒)
荒井康植 (SH, 15年度卒)

宗像サンックスブルース
猿渡知 (サブマネージャー, 07年度卒)

日野自動車レッドドルフィンズ
藤田哲啓 (FL, 12年度卒)
松井佑太 (FB, 13年度卒)
小野貴久 (HO, 15年度卒)
園木邦弥 (CTB, 16年度卒)

NTTドコモレッドハリケーンズ
金廉 (HO, 17年度卒)
藤田達成 (LO, 18年度卒)

三菱重工相模原ダイナポアーズ
成那徳 (PR, 05年度卒)
安江祥光 (HO, 06年度卒)
竹井勝彦 (分析, 13年度卒)
李城嶺 (PR, 17年度卒)

■トップチャレンジリーグ

豊田自動織機シャトルズ
浪岡祐貴 (PR, 09年度卒)
河合航 (CTB, 09年度卒)
大橋晋 (CTB, 13年度卒)

コカ・コーラレッドスパークス
猿渡康雄 (PR, 12年度卒)
木下修一 (LO, 12年度卒)
渡辺輝 (リクルート, 12年度卒)
成島直人 (LO, 13年度卒)
山崎雄希 (SO, 14年度卒)
石垣航平 (CTB, 15年度卒)
鎌田健太郎 (FB, 16年度卒)
津岡翔太郎 (WTB, 17年度卒)
長谷川寛太 (PR, 18年度卒)

近鉄ライナーズ
前田龍佑 (PR, 11年度卒)
南藤辰馬 (WTB, 12年度卒)
寺田桂太 (LO, 16年度卒)
菅原貴人 (LO, 18年度卒)

栗田工業ウォーターガッシュ
出淵賢史 (PR, 12年度卒)
太田光一 (CTB, 12年度卒)
平野和飛人 (LO, 13年度卒)
前田篤志 (HO, 14年度卒)
小山翔也 (PR, 18年度卒)

九州電力キューデンヴォルテクス
磯田泰成 (WTB, 14年度卒)
徳永一斗 (PR, 15年度卒)

木村文博 (LO, 16年度卒)

マツダブルースマーズ
三好啓太 (WTB, 06年度卒)
大木丈典 (PR, 08年度卒)
那須洋人 (WTB, 08年度卒)
村澤大佑 (WTB, 15年度卒)
北林佑介 (HO, 17年度卒)
大内空 (CTB, 18年度卒)

釜石シーウェイブス
中村良真 (SO, 16年度卒)

■トップイーストリーグDiv.1

ヤクルトレビンス
岡崎拓人 (SH, 16年度卒)
小川正志 (LO, 17年度卒)

横河武蔵野アトラスターズ
鎌盛俊介 (PR兼任コーチ, 05年度卒)
高田和輝 (PR, 13年度卒)
大黒田健人 (CTB, 13年度卒)
高橋大輔 (FB, 14年度卒)
松下修士 (主将・CTB, 15年度卒)

東京ガス
野田晃貴 (CTB, 13年度卒)
木崎翼 (WTB, 14年度卒)
小川一真 (PR, HO, 15年度卒)
上原充 (FL, No.8, 16年度卒)
矢澤蒼 (SO, 18年度卒)

セコムラガッツ
山賀敦之 (副部長, 96年度卒)
木下貴之 (チームマネージャー, 08年度卒)
高野悠斗 (PR, 15年度卒)
藤本聡太 (LO, 16年度卒)
藤井樹 (LO, 17年度卒)

BIGBLUES
伊藤拓己 (WTB, 11年度卒)

日立製作所
山田健太 (LO, 09年度卒)
下村正裕 (CTB, 10年度卒)
萩之谷篤 (LO, 17年度卒)

■トップイーストDiv.2

ライオンファンクス
安田航 (ヘッドコーチ, 14年度卒)

大塚刷毛製造
佐伯郁哉 (PR, 16年度卒)
久保太 (LO, 17年度卒)
保坂純平 (CTB, 17年度卒)
安藤佑馬 (WTB, 18年度卒)

JALWINGS
居原裕一郎 (PR, 02年度卒)
中山陽介 (PR, LO, 08年度卒)
本多敬佑 (FL, 08年度卒)

■トップウェストAリーグ

中部電力
永井若輝 (スキルアップコーチ, 09年度卒)
川久保龍太郎 (FB, 13年度卒)
服部光 (HO, 14年度卒)
村瀬謙介 (SH, SO, 16年度卒)

長船響雅 (FL, No.8, 17年度卒)
鬼木秀一 (FB, CTB, 18年度卒)

大阪府警察
泉雄也 (SO, 03年度卒)
大森拓雄 (FL, 05年度卒・主将)
重田航佑 (SH, 10年度卒)
清水良平 (LO, 12年度卒)
川満大二郎 (PR, 13年度卒)
高橋裕貴 (WTB, 16年度卒)
半田晃大 (PR, 18年度卒)

JR西日本レライーズ
藤原正雄 (監督, 01年度卒・主将)
濱田郁輝 (WTB, 16年度卒)
北林賢悟 (SH, 18年度卒)

豊田通商ブルーウィング
藤田紘也 (No.8, 15年度卒)
大飼進吾 (副将・SO, 15年度卒)
大島寛之 (SO, 16年度卒)
依藤尚之介 (PR, 17年度卒)
和崎慶一 (FL, 18年度卒)

■トップキューシュウAリーグ

中国電力
庄島哲倫 (LO, 06年度卒)
坪井秀龍 (PR, 10年度卒)
黒川勝平 (WTB, 10年度卒)
竹田和史 (CTB, 10年度卒)
前田恵輔 (PR, 11年度卒)
藤崎健大 (FL, 11年度卒)
松永浩平 (FL, 12年度卒)
荒井基植 (CTB, 12年度卒)
河口駿 (No.8, 14年度卒)
塚本瑛平 (SH, 14年度卒)
大木寿之 (PR, 15年度卒)
岩永健太郎 (HO, 17年度卒)
申賢志 (FL, 18年度卒)

JR九州サンダース
船津光 (FB, CTB, 09年度卒)
小幡大彰 (HO, 10年度卒)
橋口功 (CTB, 11年度卒)
亀元貴地 (主将・HO, 12年度卒)
徳富大樹 (CTB, WTB, 12年度卒)
平尾幸也 (SH, 14年度卒)
前原巧 (CTB, 14年度卒)
酒井大諄 (CTB, 15年度卒)
宮崎詠基 (WTB, 15年度卒)
野口修平 (CTB, 17年度卒)
元田翔太 (WTB, 17年度卒)
原口遼雅 (CTB, 18年度卒)

新日鉄住金八幡
橋本大輔 (主将・HO, 14年度卒)
宮城陸人 (LO, 14年度卒)
徳井琢真 (FL, 15年度卒)
長野一貴 (No.8, 16年度卒)

全員が同じ絵を描けるか
堀江 悩むこともいろいろあると思うけれど、とにかく行動に移してほしい。キャプテンだけではできないから、どう行動していくのかを明確にし、リーダー陣と話してやっていくことが大切だと思う。
中村 「優勝を取り戻す」ためのシーズンは帝京大学ラグビー部の歴史で初めて。そんな、自

分たちにしか経験できない1年を、プレッシャーも楽しみながらやってほしい。
流 いろいろなアドバイスを受けたいけれど、それが全部正解とは限らない。本郷の軸をぶらさず、そこに今日の話のいくつかをプラスαしてくれればと思う。何より、この1年間を楽しんでほしい。
坂手 もちろん優勝してほしいけれど、各試合で全員が成長できるように、そして、思い出に残るようにやってほしい。
松田 最後にどうなりたいかという思いを、みんなと同じ絵として思い描くことが大切。なりたい自分を描いて、そこから逆算して、これまでのことにプラスαで本郷の色を加えてほしい。良い準備をしていけば、必ず結果はついてくる。
堀野 今を大切にしたい。それが将来につながる。大切な今を積み重ねていけば、良い結果にもつながるし、来年の1月は僕たちOBも一緒に喜びたい。
堀越 まずは一人のプレーヤーとして、ラグビーを楽しんでほしい。キャプテンは大変なこともあるけれど、それを乗り越えようと人間として成長できる。
本郷 今日がありがとうございました。今年はチャレンジャーとして頑張っていきます。これからも僕たちを見守ってください。

帝京大学ラグビー部の歩み

History of Teikyo Rugby

2017年度に『大学選手権』9連覇を達成した帝京大学ラグビー部は、1970年の創部から49年の歴史を持つ。創部当初は部員が15人に満たない同好会のようなクラブだった。74年に、日本体育大学のOBで現在は帝京大学ラグビー部で名譽顧問を務める増村昭策氏が監督に就任。クラブとして本格始動したのもこの辺りからで、76年の全国地区対抗大会では初出場ながら準優勝。翌77年には堅い守備力と素早いカウンターで近畿大学を破り、全国地区対抗大会で初優勝を飾った。関東大学ラグビー対抗戦に準加盟したのもこの年で、78年には晴れて同対抗戦に正式加盟。寮など部の環境整備も徐々に進み、帝京大学ラグビー部はこれを機に新たなステップを踏む。80年以降にはチームはさらに進化。対抗戦では早稲田大学に初勝利を収め、交流戦では関東大学リーグ戦優勝の法政大学にも勝利。大学選手権

に初出場を果たした。このころ、帝京大学ラグビー部は「紅い旋風」と呼ばれていた。80年代後半からは、しばらく大学選手権出場から遠ざかり、やや低迷期に入る。そこでクラブに迎えられたのが岩出雅之現監督だった。岩出監督は就任早々、FWの強化に着手し、FWとBKのバランスがとれたチームへと進化させる。就任1年目の96年是对抗戦3位で大学選手権に進出。同一回戦の龍谷大学戦では11トライ79得点を奪う圧勝で、大学選手権初勝利を手にしている。またこの後、世界でも戦える有望な選手を数多く輩出してきた。08年に6勝1分の成績で初めて対抗戦1位にする。と、09年には東海大学を破り悲願の大学選手権優勝。創部40周年で初めて大学ラグビーの頂点まで上り詰めた。その勢いは現在もおさまらず、さらなる記録に挑み続けている。



セカンドジャージ
ファーストジャージ

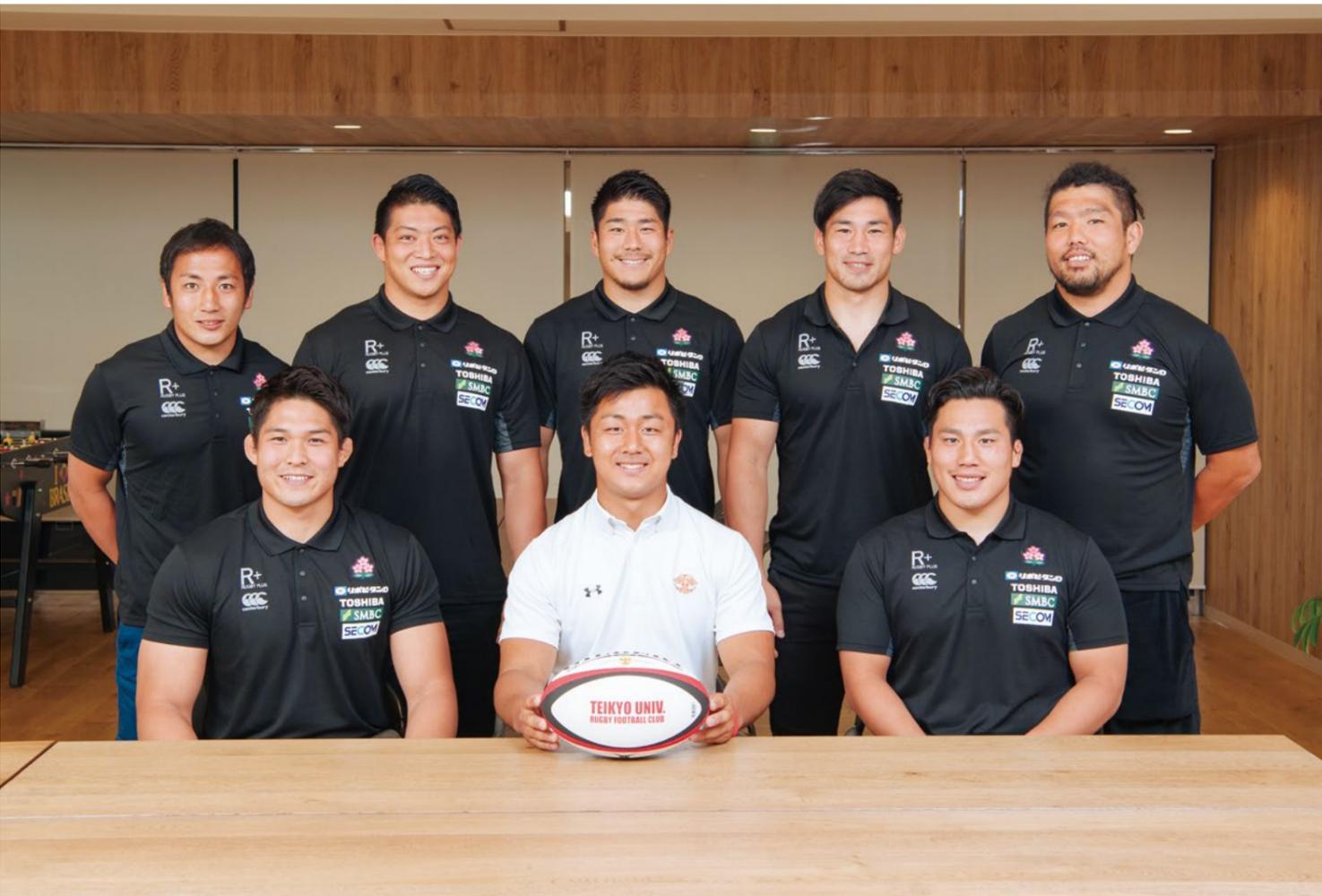
1970 ▶ 2019

CLUB DATA

創部: 1970年
スローガン: ENJOY & TEAMWORK

RECORD

全国大学ラグビーフットボール選手権大会:
出場: 26回 53勝18敗1分
優勝: 9回 準優勝: 1回 ベスト4: 3回
関東大学ラグビー対抗戦Aグループ:
優勝: 9回
日本ラグビーフットボール選手権大会:
出場: 11回 6勝10敗1分



最新の施設と設備で学生生活をバックアップ!

ACT Three



主体的な学習をサポートするために、グループ学習など多様な学習スタイルに対応したアクティブラーニング施設。ピアサポーター（先輩学生）による支援が行われている。

キュリオシティホール



席数は1,005席（1F 801席、2F 204席）を有し、小ホール1.5倍分の広さを誇る。

メディアライブラリーセンター



蔵書75万冊、1,800席の快適な読書・学習空間。PCステーション、グループ学習室は、多くの学生がレポート作成やグループワークに活用。

少人数教室



教員と学生が一体感を持てるような授業展開ができる教室が、およそ90室設置されている。

小ホール



500名を収容できる大きな講堂。大学のイベントをはじめ、各種シンポジウムや講演会などでも使用。

SORATIO KITCHEN



ソラティオスクエアに登場した都心まで展望できるお洒落で美味しいキャンパスレストラン。生涯の思い出になる憩いの場に。

アリーナ



バスケットボールコート3面、バレーボールコート3面、バドミントンコート4面、ハンドボールコート1面を設置。観客席も備えている。

ACT Two



Active Learning & Creative ToolBox、通称 ACTでは、グループ学習など多様な学習スタイルへの対応、マルチメディア設備の充実を図り、学生の主体的な学習をサポート。

帝京大学総合博物館



多摩地域の自然を写真や実物資料、映像を交えた常設展示コーナー、短期間で内容が変化する企画展示コーナーで、帝京大学の歴史を学べる。

キャリアサポートセンター



「就業力育成」「生涯サポート」「キャリアデザイン演習」による大学トップレベルのキャリア形成支援プログラムで学生一人ひとりのキャリア実現をサポート。

SORA RATIO 宙×理性 = 可能性

SORATIOとは…

果てしない天空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「宙=SORA」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語。帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また高層部・低層部からなる建物群をSQUARE（広場）として捉え、「SORATIO SQUARE（ソラティオ スクエア）」と名づけました。



キミの広がる無限の可能性

充実した学びの環境 SORATIO SQUARE

帝京大学八王子キャンパスのリニューアルで誕生した校舎棟 SORATIO SQUARE。免震構造の地上22階/地下2階建ての省エネにも配慮した校舎です。多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体化したデザインは帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表しています。

帝京大学ラグビー部 イヤーブック 2019

2019年8月発行
編集：木谷 優 (threeight)
撮影：志賀 由佳
取材・文：木村 俊太
デザイン：村上 一哉・栗原貴宏 (threeight)
発行：帝京大学本部広報課
東京都板橋区加賀2-11-1

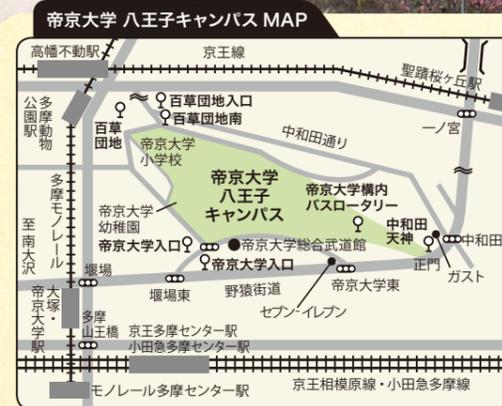


帝京大学 ラグビー部 公式ホームページ

最新の試合結果やニュースをはじめ、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<https://www.teikyo-sports.jp/rugby/>

帝京大学 ラグビー部



全国に広がる 5つのキャンパス

- 八王子キャンパス
- 板橋キャンパス
- 宇都宮キャンパス
- 福岡キャンパス
- 霞ヶ関キャンパス

「自分流」で学べる10学部

- | | |
|--|---|
| 医学部
医学科 | 外国語学部
外国語学科 |
| 薬学部
薬学科 | 教育学部
教育文化学科
初等教育学科 |
| 経済学部
経済学科
国際経済学科
地域経済学科
経営学科
観光経営学科 | 理工学部
機械・精密システム工学科
航空宇宙工学科
情報電子工学科
バイオサイエンス学科
情報科学科(通信教育課程) |
| 法学部
法律学科
政治学科 | 医療技術学部
視能矯正学科
看護学科
診療放射線学科
臨床検査学科
スポーツ医療学科
柔道整復学科 |
| 文学部
日本文学学科
史学科
社会学科
心理学科 | 福岡医療技術学部
理学療法学科
作業療法学科
看護学科
診療放射線学科
医療技術学科 |

帝京大学
TEIKYO
<http://www.teikyo-u.ac.jp/>